

岩手県薬剤師会誌

イハトーブ

第56号
2016

巻頭言・寄稿・会務報告・理事会報告・委員会の動き・
部会の動き・地域薬剤師会の動き・検査センターのページ・
薬連だより・最近の話題・質問に答えて・
岩手医科大学薬学部講座紹介・気になるハーブ・アロマ・
話題のひろば・リレーエッセイ・職場紹介・会員の動き・
保険薬局の動き・求人情報・図書紹介



編集・発行／一般社団法人岩手県薬剤師会 平成28年7月31日



岩手県医薬品卸業協会

株式会社小田島

〒025-0008 岩手県花巻市空港南2-18

☎0198(26)4211

株式会社恒和薬品岩手営業部

〒020-0891 岩手県紫波郡矢巾町流通センター南4-10-2

☎019(639)0755

株式会社スズケン岩手

〒020-0125 岩手県盛岡市上堂4-5-1

☎019(641)3311

東邦薬品株式会社岩手営業部

〒020-0122 岩手県盛岡市みたけ2-7-15

☎019(646)7130

株式会社バイタルネット岩手営業部

〒020-0891 岩手県紫波郡矢巾町流通センター南3-1-12

☎019(638)8891

株式会社メディセオ北海道・東北支社岩手営業部

〒025-0312 岩手県花巻市二枚橋第5地割6-26

☎0198(26)0552



会長就任5期目を迎えて

(一社) 岩手県薬剤師会

会長 畑澤 博 巳

冒頭に4月14日から連続して熊本地方を襲った震度7の地震により被災した方々に対しまして、心よりお見舞いを申し上げます。

本会では地震発生直後に災害対策会議を開催するとともに、災害派遣薬剤師8名を3回に分けて現地に派遣いたしました。また、各薬局では支援のための募金活動を行っていただき、295薬局から428万円ほどの義援金が寄せられました。この義援金はすでに日本赤十字社岩手県支部を通じ熊本県に送られております。支援いただきました皆様方のご協力に感謝申し上げます。

さて、私は本年3月の臨時総会にて次期会長候補者として選任され、6月19日に開催された第68期岩手県薬剤師会定時総会にて正式に次期会長として承認されました。会員の皆様方にはこれまでの4期にわたるご支援に感謝申し上げますとともに、これからの2年間につきましても更なるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

今回改選された理事の構成は新人4名、再任1名、現職23名であり、年代別では30代1名、40代6名、50代13名、60代8名であり平均年齢は54歳となりました。また、従来から薬剤師会会員の半数以上が女性であることから、女性薬剤師が活躍する環境作りが求められていましたが、このたび本会では初めての女性副会長として金澤貴子先生が就任いたしました。女性目線での活動がより活発なることを期待いたします。一方、退任する大谷副会長には昭和63年から28年間、齊藤副会長には平成2年から26年間、理事、常務理事、副会長として会務運営に多大なご尽力をいただきました。両副会長にはこれまでのご貢献に敬意を表しますとともに、心から感謝申し上げます。また、再任となりました宮手副会長は6月に開催された平成28年度日本薬剤師会定時総会におきまして監事に選任されました。本会から日本薬剤師会の監査役が誕生するのは初めてのことであり、大変心強い思いをしております。今後のご健闘をお祈りいたします。

今期の活動方針につきましては定時総会資料に掲載いたしました。これからの薬剤師活動において大切な事は薬剤師職能を世間に理解してもらうことだと考えております。「かかりつけ薬局・薬剤師」「セルフメディケーション」「地域包括ケ

アシステム」など我々が今後積極的に取り組んでいかなければならないことが山積していますが、全て地域住民の理解が得られなければ完結できない活動ばかりです。いくら薬剤師が頑張っても、薬局側のいわゆる押し付けがましい行為と捉えられては、本来の意図が伝わらないこととなります。そのような観点から、今期は今まで以上に広報活動に力を注いでいきたいと考えています。すでにテレビ岩手にて「健康ライフサポート薬局」の取り組みが紹介され、岩手日報では「薬局における残薬バッグによる薬品管理」の記事が掲載されました。また、熊本地震の義援金につきましても、日本赤十字社岩手県支部を通じ熊本県に贈呈したことが岩手日報に掲載されています。これからも県民に対する情報提供が必要と考えられる事案につきましては積極的にメディアを活用した広報活動を展開し、皆様方の薬剤師活動を応援していきたいと考えています。また、本会のホームページも7月から全面的にリニューアルされています。見た目にも鮮やかで、フェイスブックにも対応していますので、これまで以上に活用されるのではないかと期待しております。地域薬剤師会におきましては県薬のこれらの広報活動をうまく利用し、それぞれの地域の薬剤師活動に繋げていただければ幸甚です。

話は変わりますが、世の中はICT時代を迎え薬歴や薬剤監査、あるいはお薬手帳などにおいて電子機器の導入が進められております。また、今後行われる電子処方箋による調剤では薬剤師電子認証システムが導入される予定であり、さらに健康サポート薬局における「かかりつけ薬剤師」の認定においては、eラーニングによる研修が必要となっています。このような薬局業務のICT化が進む中、コンピュータが苦手な人からは不安の声も聞こえて参りますが、時代の方向はすでにICT化に向けられているのも事実であります。各薬局におきましては時代の流れに取り残されることのないよう、それぞれの職場環境に沿った対応を検討していただきたいと存じます。

以上今期の活動について申し上げましたが、会員の皆様方には今後とも引き続き会務運営にご支援を賜りますよう重ねてお願いを申し上げます。会長就任のご挨拶といたします。

★★★ もくじ ★★★

巻頭言……………	1	質問に答えて……………	33
寄稿……………	3	岩手医科大学薬学部講座紹介……………	36
第68期岩手県薬剤師会定時総会開催……………	6	気になるハーブ・アロマ……………	37
会務報告……………	15	話題のひろば……………	38
理事会報告……………	17	リレーエッセイ……………	40
委員会の動き……………	18	職場紹介……………	41
部会の動き……………	21	会員の動き……………	42
地域薬剤師会の動き……………	23	保険薬局の動き……………	46
検査センターのページ……………	25	求人情報……………	47
薬連だより……………	28	図書紹介……………	48
最近の話題……………	29	編集後記……………	49

岩手県薬剤師会のホームページが新しくなりました。

<http://www.iwayaku.or.jp/>

岩手医科大学薬学部に関する考察

岩手医科大学薬学部長 衛生化学講座教授 名取 泰博

1. はじめに

先日、「イーハトーブ」に原稿を書かせていただきましたが、再び原稿依頼を受け、今回は遥かに多い字数のご指定がありました。岩手医大薬学部の現状と今後については既にご書いてしまったので、その旨をお伝えしたところ、研究に関することでも何でも良いとお話でした。しかし私は岩手に来て以来、教育に専念していて、元々の専門である腎臓病についても最近の動向を全く把握しておらず、またこれから勉強し直す余裕もありません。ということで書く内容に苦慮していましたが、折角与えて下さった機会ですので、今回は、日頃から私が考えている岩手医大薬学部の一面について、少しばかり「宣伝」に重きを置いて紹介をさせていただこうと思います。尚、以下の記述には私の独断と偏見が(かなり?)含まれており、決して岩手医大薬学部としての見解ではないことを予めお断りいたします。

2. 地域医療の中心で薬学を学ぶ

文部科学省が定めた「薬剤師として求められる基本的な資質」の一つに「地域の保健・医療における実践的能力」が掲げられています。また厚生労働省のいう地域包括ケアシステムは、地域医療の充実でもあります。しかし地域医療と言っても、その内実は地域によってかなり異なり、東京などの大都市と岩手県とでは、その意味が随分と違うだろう、と私は思います。

東京に住む患者にとって、医療の選択肢は非常に広く、少し乗り物を使うだけでも、かかりつけ医の候補は無数にいます。また東京は言ってみればよそ者の集まりですから、多くの場合、地域と人の結びつきはそれほど強いとは思えませんし、必要ならば居住地を変えて、自分に好ましいと思う地域医療を選ぶことも比較的容易で

しょう。

しかしここ岩手では、その状況はかなり異なるように思われます。地域とそこに住む人の密着の度合いは遥かに強く、東京に比べればかかりつけ医の候補者がそれほど多いとは思えません。ましてや人口密度が低く、開業医がいない地域では、医者を選ぶなどできるはずもなく、とは言え医療のために転居するという選択肢もほとんど無いのが現実ではないでしょうか。私は東京しか知らずに育ちましたので、8年前に矢巾に移り住んだとき、地元の人達の間関係のありように、強い感慨を覚えました。大震災の際に巷でもはやされた「絆」とは、人と人とのつながりというより、人と地域とのつながりを指している言葉のようにも感じられました。従ってそのような住民にとっての地域とは、選びようのない、生まれたときから決まっている場所であり、彼らにとっての地域医療は、大都市に住む人々が考える地域医療より、もっと切実なものなのではないのだろうか、と思っています。

一方、厚生労働省は各都道府県に対して地域医療構想の策定を求めていますので、地域医療の概要は、国が示した方針に基づいてではありますが、都道府県単位で考えられていると思われます。では岩手県の医療の中心はどこか。人口密度の低い岩手県では病院の経営効率が悪いからと思いますが、必然的に民間ではなく公立となり、県内20の県立病院がその中心と言えるでしょう。ではその県立病院を統括するのはどこかと言えば、県医療局あるいは県立中央病院となるのでしょうか、先の大震災の時には明らかに岩手医大付属病院がその役割を担っているように見えました。県内唯一の地域医療支援病院は中央病院ですが、特定機能病院は岩手医大付属病院です。

岩手医大薬学部は、このように県の医療の中心

を担う病院とともにあります。日本には現在、74の薬学部がありますが、その都道府県の医療の中核を担う病院とともにある薬学部という意味では、岩手医大薬学部はかなり特殊な位置にあるように思います。東大、京大、阪大などの薬学部はそれぞれの医学部付属病院とともにありますが、それらの病院が東京、京都、大阪の医療の中心の一つとは言えても、都や府の医療の全体を統括するには、それぞれが抱える人口が多すぎるでしょう。

こう見てくると、私どもの薬学部の学生がここで学ぶ地域医療とは、大都会とは異なる、人が地域により密着した状況での地域医療であり、またその全容を眺めて、あるべき医療を考えることができるという、ある意味では非常に恵まれた立場にいるのではないかと、思っています。

3. 卒業生ネットワーク

岩手医大薬学部は開設以来ようやく10年目であり、本学の1期生が卒業してからまだ3年と少ししか経っていませんので、卒業生のネットワークといってもまだ小さいものです。しかし、皆様ご存知のように岩手医大の歴史は薬学部より遥かに長く、その創設は明治にまで遡ります。また本学の同窓会である圭陵会の歴史は80年余りもあり、その会員数は1万人を越えているそうです。従って、本学薬学部卒の先輩といってもまだ駆け出しの薬剤師ばかりですが、圭陵会の先輩には大ベテランの先生が多数おられ、岩手近郊や東北地方はもとより、日本の様々な地域の医療機関で活躍されています。

これは病院で働く薬剤師にとっても、また地域の薬局で働く薬剤師にとっても非常に心強いのではないかと思います。先日、ある病院の見学に行った本学薬学部6年生が、圭陵会の先輩にあたる医師の方々に大変お世話になったという話を聞きました。

病院におけるチーム医療はもちろんのこと、今後、かかりつけ薬剤師の制度が根付き、調剤薬局の薬剤師が地域の病院やクリニックと密に連携をとりながら地域医療を支えるシステムが構築され

るようになったときには、岩手医大薬学部の卒業生達は、特に北東北において、圭陵会のネットワークのありがたさを感じるのではないかと、思いますし、またそのネットワークを生かして、地域の人々に貢献できるだろうと期待しています。

4. 様々な場面での他学部学生との交流

以前の原稿にも書いたように、本学の売りの一つは医歯薬の三学部横断的な多職種連携教育であり、本学のカリキュラムに組み込まれていますが、当然のことながら教育の場面以外でも学部の異なる学生間の交流があります。

一つは1学年における寮生活です。医大矢巾キャンパスにはドミトリー圭友館という1年生用の学生寮があり、医学部は全員、歯学部と薬学部は希望者が入寮します。全室個室になっていますが、12室を1ユニットとして、ユニット毎に集い、コミュニケーションがとれる空間が設けられています。同一学部の学生のみからなるユニットもあるようですが、多くの薬学部生は医学部や歯学部の学生と混じって生活をしており、また他学部には年齢が上の1年生が多数いるために、様々な刺激を受けるようです。もちろん必ずしも良い影響ばかりではないでしょうが、時折、勉強を教えてもらうこともあるようです。当然のことながら、寮を出た後も交友関係が続いているという話も聞きます。

また本学のクラブ活動の多くは学部間の垣根なく行われていますので、クラブ内での学部間の交流はさらに盛んになっています。私に関わっている陸上競技部を例にとると、競技者もマネージャーも全く学部の区別なく活動が行われていますので、当然、薬学部の学生も他学部の勉強の身や実習の様子を良く知っていますし、寮生と違って、全学年にわたって何らかの活動が続くので、その結びつきは大変強いものがあります。

前述の同窓会ネットワークだけでなく、このような学生時代からの交流は、個人的な交友関係の幅広さを生むことに加えて、将来、チーム医療を行う上で、他の職種の人々をより良く理解できることにつながるのではないかと考えています。来

年度、本学看護学部ができれば、その交流の多様性はさらに広がることでしょう。

また、これは学部長が語るべきことかどうかわかりませんが、医学部、歯学部には男子学生が多く、薬学部には女子学生が多いことから、クラブ内でできるカップルには医歯と薬の組合せが結構あるようです。

5. 素朴で素直な薬学部生

本学薬学部へ赴任した教員のほぼ全員が感じ、また本学を訪れる他大学の教員が口を揃えて言うのは、ここの学生は大変、素直である、ということです。このことは、もしかすると地元の方々は意識されたことがないかも知れませんが、首都圏などの大都市の若者と接してきた者にとってはかなり強い印象を与えます。

都会ではしばしば斜に構えたように感じられる若者がいます。自分自身がそうだった可能性が高いので、あまりとやかく言えませんが、他人の言うことを素直に聞けず、人の心の裏を読もうとするような態度です。恐らく都会では、あまり素直に接していると、いつ誰にだまされるかわからない、という状況があるため、そのような自己防衛をせざるを得ない、ということかと推測しています。

本学薬学部の学生には、そのような面がほとんど感じられません。基本的に、だまされないようにと自己防衛する必要がないために、素直で、伸び伸びとしているように思われます。もちろん長い人生では、だまされないように注意すべきときも多々あるでしょうが、若い時代にはそのようなことにとらわれることなく、素直に生きる経験をする方が、人の成長により影響を与えるのではないのでしょうか。また、やや屈折した気持ちで育った子どもも、本学のような仲間達と過ごすうちに、伸びやかな心を取り戻すかも知れません。

6. 岩手の子は岩手で育てよう

かなり以前の話ですが、私の知り合いの東京出身の大学教員が助教授として名古屋に赴任したと

き、現地の人に「旅人さん」と呼ばれた、と言っていたことがあります。名古屋の人は、東京や大阪から来た人に対して、しばらく名古屋にいてもいずれまた東京や大阪に帰っていくのだろう、と揶揄する気持ちからそう言うようで、実際、私の知る彼もしばらく名古屋にいた後、東京の大学に教授として戻って来ました。

8年前に岩手医大に赴任する際、私はかなり本気で、岩手に貢献したい、と考えていました。しかし一方で私はこの「旅人さん」の話から、こちらに住み着くつもりでなければ、私が何を言ってみても地元の人に信用してもらえないのではないか、とも考えました。

ちょうど震災の直前に私は矢巾に居を構えて、地域の自治会にも参加し、岩手県人になろうとしてきました。大学を定年後も当地にいて、時折、卒業生が遊びにきてくれるのを楽しみに暮らそうとしています（もし来訪者がいなければ、それは自業自得というものです）。

当地で、岩手の、あるいは北東北の子ども達の教育に携わり続けることが、私の夢です。伸び伸びとした岩手の子ども達が、そのまま岩手の地で育つことに何らかの貢献ができればと思います。

7. おわりに

岩手県薬剤師会の皆様のほとんどは他大学のご出身でしょうから、我が田に水を引く、偏見に満ちた岩手医大薬学部礼賛の文章に辟易とされた方もおられると思います。また私はさほど医療行政に明るいわけではありませんので、事実誤認もあるかと危惧します。とは言え、ここに記したことから、当地に赴任以来、私なりに考えてきたことで、たまたまの機会を与えられて初めて書いてみました。ご笑覧いただけましたら幸いです。

第68期一般社団法人岩手県薬剤師会定時総会開催

日 時：平成28年6月19日(日) 午後1時～ 場所：建設研修センター

司会：村井利昭理事

【別掲】

1. 開会の言葉

大谷道男副会長から開会が宣言されました。

2. 薬剤師綱領唱和

八巻貴信理事の先導により、薬剤師綱領を唱和しました。

3. 議事運営委員長日程説明

牟岐和房議事運営委員会委員長より、議事日程が説明されました。

4. 会長挨拶

【別掲】

5. 表彰

(第48回岩手県薬剤師会賞)

学術賞	岡田浩司殿
学術奨励賞	佐藤康子殿
	高橋秀和殿
奨励賞	上館伸子殿
功労賞	篠崎俊行殿
	守屋彰子殿
褒章	小野寺直人殿
	千葉健史殿
	手塚優殿

(平成28年度日本薬剤師会有功賞)

高橋正直殿	(盛岡)
浜口誠洋殿	(盛岡)
飯澤圭子殿	(一関)
鵜浦有三殿	(一関)
富田淑子殿	(一関)
中澤サキ子殿	(一関)
熊谷正代殿	(気仙)
千葉昭二殿	(気仙)

受賞者を代表して功労賞を受賞した篠崎俊行先生から謝辞が述べられました。

6. 来賓祝辞

来賓として、佐々木信岩手県保健福祉部長代理の藤原寿之健康国保課総括課長から祝辞が述べられました。

7. 議長登壇

来賓及び受賞者が退場し、山田裕司議長と高野浩史副議長が正副議長席に登壇して議事の開始を宣言した。



8. 出席代議員数確認

代議員定数82名のうち、52名が出席していることが報告され、山田議長は、本日の総会が成立していることを宣言した。

9. 議事録署名人指名

山田議長は、議事録署名人として着席番号12番の河野潤代議員及び29番の東透代議員を指名し承認された。

10. 議事

報告第1号：岩手県薬剤師会会務並びに事業報告について

平成27年度の会務実績について、宮手副会長から報告された。

山田議長は、議場に対して質疑を求めたが、特段発言はなかった。

議案第1号：平成27年度収支計算書及び財務諸表決算承認について

山田議長は、執行部に対して平成27年度の財務諸表について説明するよう求めた。

西野常務から総会議案書により説明がなされた。

これらの決算報告に対し、佐藤昌作監事から、平成28年5月24日に監査を実施し、すべて適正に処理されていたことが報告された。

質疑

46番 北上薬剤師会 大松宏貴代議員の質問

「内丸薬局についてお伺いします。調剤報酬が下がっています。岩手医大の移転計画が進んでいる中、どのようにされる方針なのかお示しいただきたい。」



畑澤博巳会長の回答

「収入は下がっていますが、支出を抑えるなどして13百万円のプラスを出しています。今後のことですが、岩手医大が移転すれば今の場所での営業はできなくなるものと考えています。しかし、内丸薬局の矢巾への移転は考えていません。会営薬局は、収益のためでなく、備蓄センターや様々な研修、在宅医療等、会員薬局のための薬剤師会の事業の中心となるべき使命があると思っております。現在、岩手医大の内丸の整備計画が明らかではないので見通しが立っていないのが現状です。移転するにしても廃止するにしても資金が必要になりますので、剰余金をつくっていきたいと思っています。」

他に質疑は出されなかった。議長は、議案第1号について挙手で承認を求めたところ承認者多数であった。これにより、議長は議案第1号承認可決されたことを宣言した。

議案第2号：平成27年度収入支出決算剰余金処分承認について

西野常務から、議案第1号の説明に引き続いて剰余金処分案について総会議案書により、すべてを次期に繰り越すこととして提案された。

山田議長から質疑が求められたが、特段の質疑は出されなかったため、議長が議案2号について挙手で承認を求めたところ承認者多数であった。

これにより、議長は議案2号が承認可決されたことを宣言した。

議案第3号：役員報酬等規程の一部改正について

宮手副会長から、役員報酬等規程の一部改正について総会議案書により、改正案のとおり改正することが提案された。

山田議長から質疑が求められたが、質疑は出されなかったため、議長が議案3号について挙手で承認を求めたところ承認者多数であった。これにより、議長は議案3号が承認可決されたことを宣言した。

議案第4号：理事選任について

畑澤会長から、理事については、平成28年3月に開催した第67期臨時総会で会長候補者として承認された自分が提案することとしたい旨の説明がされ、新理事として次の会員が指名された。

- 理事 押切 昌子
- 理事 及川 憲太郎
- 理事 金澤 貴子
- 理事 川口 さち子
- 理事 川目 聖子
- 理事 金野 良則
- 理事 工藤 賢三
- 理事 工藤 琢身
- 理事 熊谷 明知
- 理事 佐々木 栄一
- 理事 佐藤 裕司
- 理事 嶋 弘一
- 理事 関 俊昭
- 理事 高林 江美
- 理事 高橋 寛
- 理事 富山 道彦
- 理事 中田 義仁
- 理事 新淵 宏
- 理事 西野 豊
- 理事 畑澤 博巳
- 理事 畑澤 昌美
- 理事 福盛田 新
- 理事 本田 昭二
- 理事 本庄 伸輔

理事 湊谷 寿邦
 理事 宮手 義和
 理事 村井 利昭
 理事 八巻 貴信

山田議長は、このことについて代議員に質疑を求めたが、特段の質疑はなかったので、山田議長は採決を行うことを宣言した。

議長は、採決にあたっては本来ならば一人ずつ賛否を採るべきところであるが、次期会長候補者から提出されている名簿について、一括して採決することとした旨の提案がされ、代議員は全員そのことを承認した。

このことを踏まえて、山田議長は挙手により理事名簿の賛否を代議員に問うたところ、満場一致で可決された。

この結果を受けて、被選任者は、席上その就任を承諾した。

議案第5号：監事選任について

山田議長から、事前に届出のあった立候補者が2名であったことが説明され、監事選挙規則第10条第1項の規程に基づき、表決を行うことを宣言した。

挙手による賛否を求めたところ、全員一致で監事については次のとおり承認した。

監事 佐藤 昌作
 監事 細田 稔男

この結果を受けて、被選任者は、席上その就任を承諾した。

議長は、以上をもって本日の議事がすべて終了したことを宣言した。

さらに、この後2階の別室で理事会が開かれ、会長・副会長・専務理事・常務理事が決定され、その後、理事会報告会をこの会場で行われることを説明し、代議員はその理事会の結果を見守る必要があり、この理事会終了後に開催する理事会報告会まで待機してほしいことを告げた。

11. 閉会のことば

齊藤明 副会長から第68期定時総会の閉会が宣言された。

【追記】

別室で理事会が開催され、会長・副会長・専務理事・常務理事が決定された。本日の総会に出席した代議員は、この理事会の決定についての報告を受けて解散した。

【新執行理事名簿】

会 長	畑 澤 博 巳 (盛岡)
副 会 長	宮 手 義 和 (盛岡) 西 野 豊 (盛岡) 金 澤 貴 子 (二戸)
専務理事	熊 谷 明 知 (盛岡)
常務理事	工 藤 賢 三 (盛岡) 畑 澤 昌 美 (盛岡) 本 田 昭 二 (盛岡) 中 田 義 仁 (釜石) 本 庄 伸 輔 (盛岡) 佐 藤 裕 司 (花巻) 八 巻 貴 信 (奥州)

■退任のあいさつをする大谷副会長（左）と齊藤副会長（右）



記念撮影（左から齊藤副会長、畑澤会長、大谷副会長、宮手副会長）

第 68 期定時総会 会長挨拶



「第 68 期岩手県薬剤師会定時総会の開催にあたり一言申し上げます。

本日はお休みのところ、代議員の皆様には、県内各地からご参集いただきまして誠にありがとうございました。また、本日はご来賓といたしまして、岩手県健康国保課総括課長の藤原寿之（ひさゆき）様にご臨席を賜っております、後ほどご祝辞を賜りますが会員を代表しまして厚く御礼を申し上げます。

さて今年 4 月 14 日以降、震度 7 や 6 強を観測する地震が相次いだ熊本では今なお余震が続いており、不安な日々を送っていることと思います。今回の地震で被災した方々に対しまして心からお見舞いを申し上げます。岩手県薬剤師会としては発災後すぐに対策会議を開き、災害派遣薬剤師として 3 グループ 8 名の方々に現地に派遣する事を決定しました。また、各薬局で集めていただきました被災地支援のための義援金につきましては日本赤十字岩手支部を經由して送金いたしました。協力していただきました方々に改めまして御礼を申し上げます。

今年 4 月には調剤報酬改定がありました。皆様方においても昨年の暮頃からその行方に注目していた事と思います。規制改革会議などの影響もあり調剤基本料は 5 段階に分けられ、薬学管理料においてはお薬手帳の算定方法が変わり、かかりつけ薬剤師指導料が新しく加えられました。本会においては平成 26 年度から実施している「健康ライフサポート薬局」事業がまさにかかりつけ薬局の姿であり、今年度から厚生労働省が実施する「健康サポート薬局」事業も問題なく受け入れることができると考えております。また残薬の確認につ

きましても各薬局に対しまして本会にて独自に作成しましたブラウンバックを配布しており、全県的事業に発展する事を期待しております。なおこの事業につきましては、すでに岩手日報社からの取材を受けており、間もなく記事になると思います。今年度、薬剤師会ではこのようなメディアによる広報活動に力を入れ、県民の皆様方へ薬剤師の仕事を理解してもらえるように積極的に情報提供をして行きたいと考えておりますので、会員の皆様方にもこのような取り組みにご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

一方、病院薬剤師会との連携も重要な課題であります。幸いなことに本県におきましては全会員に占める病院・診療所に勤務する薬剤師の割合が他県に比べ大きなものとなっており、従来から両者間での協力体制はうまく行われておりますが、今後岩手県における地域包括ケアシステムの中では病院薬剤師の皆様方との連携が欠かせないものとなってまいりますので、更なるご協力をお願い申し上げます。

もう一つ、皆様方をお願いしたいことがあります。それは 7 月 10 日に予定されている参議院選挙の件であります。我々は従来から藤井もとゆき候補を応援して参りましたが、彼は年齢から考え今回は最後の選挙となります。次期候補者のためにも、薬剤師の議席を確保しておかなければなりません。彼がもし敗れるようなことになれば参議院には薬剤師が一人もいなくなり、現在社会保障費が削減される状況の中で、三師会のバランスは大きく崩れる事になります。そして、その結果は調剤報酬に跳ね返ってくると考えられます。皆様方には再度回りの方々に声をかけていただき、藤井もとゆき後援会名簿の収集にご協力をお願いいたします。

本日の総会では、平成 27 年度決算の承認と、次期役員を選任が主な議案となっております。皆様方にはどうぞ慎重なご審議をよろしくお願いいたします。申し上げます。

また、本日第 48 回岩手県薬剤師会賞と平成 28 年度日薬有功賞を受賞されます先生方には、これまでのご努力とご貢献に対しあらためて敬意を表するとともに心よりお祝いを申し上げます。今後も益々ご健勝で活躍されることを祈念申し上げます。

挨拶といたします。』

来賓祝辞



岩手県保健福祉部長 佐々木 信 殿
代理 健康国保課総括課長 藤原 寿之 殿

「一般社団法人岩手県薬剤師会第68期定時総会の開催に当たり、お祝いを申し上げます。

はじめに、この度の熊本地震で犠牲になられた方々に対し心からお悔やみを申し上げますとともに被害にあわれたすべての皆様に対しお見舞いを申し上げます。また、岩手県薬剤師会におかれましては、熊本地震の被災地に会員を派遣し被災地のご支援をいただきましたことに対し深く敬意を表しますとともに厚く御礼を申し上げます。

本日ご出席の皆様には日頃それぞれの地域やお立場において薬事行政の推進にご尽力いただいておりますことに対し、深く感謝申し上げます。県では、東日本大震災津波から5年が経過し、本格復興期間の最終年度にあたる今年を本格復興完遂年と位置づけ、新「がんばろう！岩手」宣言のもと、総力をあげて本格復興に取り組むとともに、復興のシンボルとして開催される希望郷いわて国体、希望郷いわて大会において本格復興の進捗とこれまでの支援に対する感謝の気持ちを伝えていくこととしております。

さて、昨今、医薬分業の進展等により、薬剤師及び薬局をとりまく環境は大きく変化しております。このような中、医薬分業の原点に立ち返り、現在の薬局を患者本位のかかりつけ薬局に変えていくため、平成27年度、厚生労働省は患者のための薬局ビジョンを策定いたしました。

患者本位の医薬分業の実現に向けて、服薬情報

の一元的・継続的把握とそれに基づく薬学的管理・指導、24時間対応・在宅対応、医療機関等との連携など、かかりつけ薬剤師・薬局の今後の姿を明らかにするとともに、中長期的視野に立って、現在の薬局をかかりつけ薬局に再編する道筋を示しています。

県といたしましても、患者のための薬局ビジョンの実現に向け、介護支援専門員、訪問看護師との連携等、薬剤師が在宅訪問・在宅医療サービスを提供する取組みを支援するとともに、事業の推進にあたっては、岩手県薬剤師会並びに会員の皆様のご協力が必要不可欠であることは間違いありません。

ご参会の皆様におかれましても、今後とも県民が地域社会で安心して保健医療福祉サービスを受け入れられるよう、その機能を十分に発揮され、地域の関係者と連携してチーム医療、在宅医療など、積極的な取組みを推進していただきますようお願い申し上げます。

結びに、一般社団法人岩手県薬剤師会の今後のますますのご発展と会員の皆様のご健勝、ご活躍を祈念いたしまして、祝辞といたします。

平成28年6月19日

岩手県保健福祉部長 佐々木 信 代読」

正味財産増減計算書

2015年04月01日から2016年03月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
受取会費	34,979,629	34,802,500	177,129
過年度受取会費	639,235	618,000	21,235
賛助受取会費	3,784,000	3,740,000	44,000
賛助過年度受取会費	110,000	0	110,000
受取会費計	39,512,864	39,160,500	352,364
受取負担金			
受取負担金	3,970,000	3,998,400	▲28,400
受取負担金計	3,970,000	3,998,400	▲28,400
事業収益			
手数料収益	242,658,296	215,562,007	27,096,289
調剤料収益	381,980,804	394,936,497	▲12,955,693
小売収益	10,526,809	11,211,328	▲684,519
用紙等売却収益	3,840,342	4,263,093	▲422,751
医薬品試験契約料収益	4,365,671	4,262,431	103,240
ファックス送信手数料収益	5,564,270	4,976,988	587,282
お薬手帳作成補助金	583,200	390,000	193,200
事業収益計	649,519,392	635,602,344	13,917,048
受取委託費等			
委託契約収益	11,197,667	9,989,286	1,208,381
県学薬事務委託収益	185,185	185,185	0
業務委託収入保険薬局部会	12,400,000	12,400,000	0
受取委託費等計	23,782,852	22,574,471	1,208,381
補助金収入			
補助金収入	1,778,891	2,753,847	▲974,956
補助金収入計	1,778,891	2,753,847	▲974,956
雑収益			
預金利息	56,642	58,752	▲2,110
雑収益	5,796,668	5,068,694	727,974
消費税差額収益	4,721,120	1,957,372	2,763,748
協賛金収益	183,333	518,516	▲335,183
受講料収益	315,764	323,171	▲7,407
雑収益計	11,073,527	7,926,505	3,147,022
他会計からの繰入金収入			
他会計からの繰入金収入	5,000,000	9,500,000	▲4,500,000
他会計からの繰入金収入計	5,000,000	9,500,000	▲4,500,000
経常収益計	734,637,526	721,516,067	13,121,459
(2) 経常費用			
事業費			
仕入高	314,338,598	324,505,996	▲10,167,398
役員報酬	2,750,000	2,410,000	340,000
諸給与	174,543,810	174,545,763	▲1,953
法定福利費	25,077,995	25,404,369	▲326,374
福利厚生費	5,262,204	4,924,909	337,295
宣伝広告費	693,889	388,889	305,000
消耗什器備品	24,411,625	19,852,098	4,559,527
事務消耗品費	4,074,515	2,862,222	1,212,293
保険料	1,726,368	1,656,450	69,918
賃借料	7,292,130	8,144,822	▲852,692
旅費交通費	11,323,773	12,535,011	▲1,211,238
通信運搬費	7,392,458	6,530,976	861,482
公租公課	28,523,487	29,380,341	▲856,854

正味財産増減計算書

2015年04月01日から2016年03月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
水道光熱費	11,205,889	10,237,584	968,305
教育研究費	2,408,546	1,685,129	723,417
印刷製本費	10,408,930	11,733,276	▲1,324,346
修繕費	9,678,764	6,373,960	3,304,804
会議費	387,494	616,461	▲228,967
図書費	1,392,967	1,252,210	140,757
諸会費	1,178,000	1,145,500	32,500
委託費	591,596	567,696	23,900
慶弔費	31,139	30,409	730
負担金	703,137	684,388	18,749
建物管理費	2,389,063	2,405,370	▲16,307
雑費	4,298,324	4,185,825	112,499
薬剤師研修手帳購入費	11,500	1,150	10,350
支払利息	1,861,709	2,076,045	▲214,336
退職金	5,728,737	10,215,028	▲4,486,291
交際費	373,504	390,748	▲17,244
減価償却費	47,516,034	41,033,685	6,482,349
支払補助金	1,225,000	1,176,000	49,000
諸謝金	1,328,763	1,041,151	287,612
支払負担金	110,000	2,110,000	▲2,000,000
他会計への繰入金支出	5,000,000	7,500,000	▲2,500,000
事業費計	715,239,948	719,603,461	▲4,363,513
管理費			
諸給与	4,731,770	4,769,676	▲37,906
法定福利費	652,235	621,297	30,938
福利厚生費	121,515	107,807	13,708
宣伝広告費	35,000	65,000	▲30,000
消耗什器備品	343,144	34,500	308,644
事務消耗品費	556,212	387,681	168,531
賃借料	486,957	374,519	112,438
旅費交通費	286,934	359,723	▲72,789
通信運搬費	246,607	387,476	▲140,869
公租公課	1,556,604	1,769,772	▲213,168
水道光熱費	195,573	216,992	▲21,419
教育研究費	48,055	123,203	▲75,148
印刷製本費	75,949	767,150	▲691,201
修繕費	87,200	87,200	0
会議費	435,824	391,418	44,406
総会費	1,445,060	1,409,326	35,734
諸会費	50,000	0	50,000
慶弔費	189,578	162,250	27,328
負担金	100,000	0	100,000
雑費	474,073	453,337	20,736
退職金(管)	7,438,462	4,944,089	2,494,373
諸謝金	15,000	0	15,000
減価償却費	2,130,114	2,229,910	▲99,796
管理費計	21,701,866	19,662,326	2,039,540
	0	0	0
経常費用計	736,941,814	739,265,787	▲2,323,973
評価損益等調整前当期経常増減額	▲2,304,288	▲17,749,720	15,445,432
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	▲2,304,288	▲17,749,720	15,445,432
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0

正味財産増減計算書

2015年04月01日から 2016年03月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
(2) 経常外費用			
固定資産除却損			
固定資産除却損	30,933	0	30,933
固定資産除却損計	30,933	0	30,933
経常外費用計	30,933	0	30,933
当期経常外増減額	▲30,933	0	▲30,933
税引前当期一般正味財産増減額	▲2,335,221	▲17,749,720	15,414,499
当期一般正味財産増減額	▲2,335,221	▲17,749,720	15,414,499
一般正味財産期首残高	464,161,872	481,911,592	▲17,749,720
一般正味財産期末残高	461,826,651	464,161,872	▲2,335,221
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	358,841,198	358,841,198	0
指定正味財産期末残高	358,841,198	358,841,198	0
III 正味財産期末残高	820,667,849	823,003,070	▲2,335,221

貸借対照表

2016年03月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
(1) 現金預金			
現金	1,523,431	1,023,432	499,999
普通預金	215,462,549	251,125,558	▲35,663,009
岩銀普通(会営調剤薬局分)	28,503,155	28,498,483	4,672
岩手県薬剤師会 会賞副賞積立金	1,270,293	1,308,622	▲38,329
振替貯金	13,073,430	11,974,041	1,099,389
定期性預金	99,400,000	96,400,000	3,000,000
薬局復興義援金預金 北銀 7018769	706	706	0
現金預金合計	359,233,564	390,330,842	▲31,097,278
(2) その他流動資産			
手数料未収金	90,411,046	56,374,464	34,036,582
調剤未収金	55,448,937	53,081,883	2,367,054
未収金	16,637,256	15,628,695	1,008,561
売掛金	769,761	916,991	▲147,230
仮払金	0	0	0
受取手形	1,278,180	0	1,278,180
貯蔵品	25,823,458	30,794,120	▲4,970,662
その他流動資産合計	190,368,638	156,796,153	33,572,485
流動資産合計	549,602,202	547,126,995	2,475,207
2. 固定資産			
(1) その他固定資産			
土地	179,095,238	179,095,238	0
建物	192,061,199	199,224,211	▲7,163,012
建物付属	68,702,005	76,377,778	▲7,675,773
構築物	4,063,130	5,058,180	▲995,050
機械装置	42,226,408	69,505,307	▲27,278,899
什器備品	13,256,041	14,875,888	▲1,619,847
ソフトウェア	360,000	540,000	▲180,000
保証金	24,000	24,000	0
会への貸付金	0	0	0
セ勘定(補)	0	0	0
内丸薬局へ移動	0	0	0
セ勘定(旧)	0	0	0
薬剤師会館(公益)	0	0	0
その他固定資産合計	499,788,021	544,700,602	▲44,912,581
固定資産合計	499,788,021	544,700,602	▲44,912,581
資産合計	1,049,390,223	1,091,827,597	▲42,437,374
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	61,077,345	77,527,118	▲16,449,773
未払金	6,246,474	6,608,450	▲361,976
仮受金	12,661,461	12,153,527	507,934
預り金	1,846,789	1,894,089	▲47,300
前受手数料	19,800	19,905	▲105
未払消費税	4,418,100	4,739,300	▲321,200
未払法人税等	70,615	68,143	2,472
流動負債合計	86,340,584	103,010,532	▲16,669,948
2. 固定負債			
長期借入金	89,952,000	99,960,000	▲10,008,000
検査センターからの借入金	0	0	0
会営薬局から移動	0	0	0
部会公益事業から借入金	8,000,000	8,000,000	0
会勘定(旧)	0	0	0
会勘定(補)	0	0	0
薬剤師会館(収益)	0	0	0
長期未払金	44,429,790	57,853,995	▲13,424,205
固定負債合計	142,381,790	165,813,995	▲23,432,205
負債合計	228,722,374	268,824,527	▲40,102,153
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産(一般正味財産)			
センター建設負担金	53,877,200	53,877,200	0
会館建設負担金	56,231,000	56,231,000	0
補助金	102,240,000	102,240,000	0
会館建設補助金	17,400,000	17,400,000	0
会館建設準備金	96,169,208	96,169,208	0
会営薬剤師会調剤局	32,923,790	32,923,790	0
指定正味財産合計	358,841,198	358,841,198	0
2. 一般正味財産(繰越金)	461,826,651	464,161,872	▲2,335,221
正味財産合計	820,667,849	823,003,070	▲2,335,221
負債及び正味財産合計	1,049,390,223	1,091,827,597	▲42,437,374

平成 28 年熊本地震災害義援金報告

総額 4,287,090 円

募金協力件数 295 件

ご協力ありがとうございました。皆様から頂いた義援金は、日本赤十字社に送金いたしました。

< 義援金（目録）を日本赤十字社岩手県支部にお渡ししました！ >



佐々木和延事務局長（左）に目録を渡す畑澤博巳会長（右）



会務報告



月	日	曜	行 事 ・ 用 務 等	場 所	参 加 者	
6	月	1日	水	岩手日報創刊140周年並びに制作センター完成祝賀会	盛岡グランドホテル	会長
		3日	金	奥州薬剤師会総会	水沢パレスホテル	会長
		4日	土	岩手県学校薬剤師会総会	盛岡商工会議所	
				タウンミーティングinかまいし	釜石情報交流センター	
				競技力向上支援事業（スポーツ医・科学ワークショップ）	岩手県営スケート場	佐藤（大）
		5日	日	岩手医科大学薬学部卒後研修講座	矢巾キャンパス	
		7日	火	北上薬剤師会総会	ホテルシティプラザ北上	会長、宮手
				第1回フィジカルアセスメント研修WG会議	岩手県薬剤師会館	
		8日	水	日薬 健康サポートのための薬剤師の対応研修（仮称）に係る都道府県薬剤師会説明会	TKP田町カンファレンスセンター	熊谷、畑澤、押切
				一関薬剤師会総会	ベリーノホテル一関	会長
		9日	木	平成28年度岩手県学校保健会及び評議員会	岩手県薬剤師会館	会長
		11日	土	調整機構 タスクフォーススキルアップ研修会（～12日）	岩手県薬剤師会館	
		15日	水	東北厚生局による新規個別指導	アイーナ	畑澤（昌）
				盛岡薬剤師会総会・研修会	アイーナ	会長
		16日	木	第3回常務理事会	岩手県薬剤師会館	
		17日	金	希望郷いわて国体・希望郷いわて退会実行委員会第4回総会	盛岡グランドホテル	坂川
		19日	日	第68期定時総会・第3回理事会	建設研修センター	
				岩手県介護支援専門員協会研修会	岩手県公会堂	中田
		21日	火	都道府県薬剤師連盟実務担当者会議（～22日）	品川プリンスホテル	宮手、坂川
		22日	水	東北厚生局による個別指導及び新規個別指導	一関文化センター	金野
		23日	木	藤井もとゆき街宣車来県・個人演説会	岩手県薬剤師会館	
		24日	金	藤井もとゆき街宣車遊説	盛岡→花巻→北上	熊谷、村井
				保険薬局部会役員会	岩手県薬剤師会館	
				日本薬剤師会理事会及び決算委員会	日本薬剤師会	会長、宮手
25日	土	第87回日薬定時総会（～26日）	ホテルイースト21	会長、宮手、西野		
7	月	2日	土	競技力向上支援事業（スポーツ医・科学ワークショップ）	岩手県営スケート場	佐藤（大）
		4日	月	保険薬局部会臨時役員会	岩手県薬剤師会館	
		5日	火	日本薬剤師会理事会	日本薬剤師会	宮手
		9日	土	第4回理事会・第2回地域薬剤師会会長協議会	プラザおでって	
				非常時災害対策研修会前日打合せ会	岩手県薬剤師会館	
		10日	日	非常時災害対策研修会	岩手県薬剤師会館	
				簡易懸濁法セミナーin岩手	岩手医科大学	
		13日	水	第2回都道府県会長協議会	日本薬剤師会	会長
				平成28年度岩手県薬物乱用対策推進本部会議	岩手県水産会館	熊谷
				東北厚生局による個別指導	一関文化センター	金野
		21日	木	編集委員会	岩手県薬剤師会館	
		26日	火	生涯教育推進委員会	岩手県薬剤師会館	
		27日	水	東北厚生局による個別指導及び新規個別指導	奥州商工会議所江刺支所	内館
				献血団体推進協議会に対する厚労大臣表彰伝達式等	サンセール盛岡	会長
29日	金	保険薬局部会役員会	岩手県薬剤師会館			
30日	土	被災地薬剤師との交流バスツアー（～31日）	大船渡市・陸前高田市	熊谷ほか		



理事会報告



理事会報告	
第2回常務理事会	平成28年6月16日（18：30～20：00） 味勢
報告事項	1 会務報告と今後の予定について 2 健康サポートのための薬剤師の対応研修に係る都道府県薬剤師会説明会について 3 その他
協議事項	1 第68期定時総会について 2 会費未納者について 3 平成28年度地域薬剤師会等補助費について 4 平成28年度患者のための薬局ビジョン推進事業について 5 平成28年度地域自殺対策強化事業について 6 その他
第3回理事会	平成28年6月19日（14：15～14：30） 建設研修センター
協議事項	1 専務理事及び常務理事の選定について
第4回理事会・第2回地域薬剤師会会長協議会	平成28年7月9日（14：30～16：30） プラザおでって
理事会 協議事項	1 会務・事業の運営方針について 2 理事職務分担について 3 補欠の代議員選挙について 4 平成28年度地域薬剤師会等補助費について 5 会員名簿の作成について 6 ホームページの運用規程について 7 新規指定保険薬局の入会金について 8 同文書院パンフレット配布依頼について 9 その他
報告事項	1 会務報告と今後の予定について 2 会務・事業の運営方針について 3 理事職務分担について 4 第87回日本薬剤師会定時総会について 5 健康サポート薬局に係る研修について 6 平成28年度DEM事業について 7 平成28年度患者のための薬局ビジョン推進事業について 8 平成28年度在宅医療人材育成研修について 9 熊本地震災害募金活動について 10 その他
会長協議会 協議事項	1 平成28年度の県薬事業について ・在宅医療への参画・推進について ・非常時・災害対策について ・岩手国体への対応について ・被災地薬剤師確保事業について ・自殺対策事業について 2 その他



委員会の動き



医薬品試験委員会から

委員長 工藤 賢三

医薬品は国民の生命や健康に密接に関わるものであり、有効性や安全性を確保するために高度な品質が要求されています。製造過程（GMP）はもちろん、流通過程（JGSP）においても品質確保には十分な対策が行われています。しかし、医薬品は化学物質であり時間の経過とともに品質に変化が生じることは避けられないことと考えます。そのため販売過程においても医薬品の品質を常に確認し、品質維持に努めることが法律で要求されています。薬局における試験検査の実施は、「医薬品医療機器等法（旧称：薬事法）施行規則第12条」により規定され、「薬局開設者は、薬局の管理者が医薬品の適切な管理のために必要と認める医薬品の試験検査を、薬局の管理者に行わせなければならない、当該薬局の設備及び器具を用いて試験検査を行うことが困難であると薬局の管理者が認めた場合には、薬局開設者は別に厚生労働省令で定める試験検査機関を利用して試験検査を行うことができる」と定められています。

医薬分業の進展や後発医薬品の利用促進に伴い、医薬品の製剤学的同等性の確認、服薬指導の根拠となる試験検査データの収集、調剤技術の向上につながる試験の実施、薬局間の試験検査データの相互利用等の重要性が高まっていることに鑑み、ご存知のように本県薬剤師会でもこれに対応するように医薬品試験検査を医薬品試験委員会の活動と連携して毎年実施しております。

平成27年度の計画的試験では、登録施設の半数である約250店舗を対象に、1) プレドニゾロン錠10mg製剤の溶出試験、2) 各薬局で最も多く分包している散剤の重量偏差試験、3) 一般品質試験（OTC医薬品試験）として、点眼剤中のネオスチグミンの含量試験を実施しております。例年、規定範囲であったことが確認されております。

すし、もし異常値が出た場合には、医薬品を提出頂いた薬局への速やかなフィードバックを行い、改善等に繋げて頂いております。

会員各位におかれましては、医薬品の品質維持や調剤技術の向上という試験検査の目的をご認識していただき、積極的な試験検査への参加と適切な評価をお願いいたします。当会の検査センターは登録を受けた試験検査機関となっておりますので、安心してご依頼いただければと思います。

非常時・災害対策委員会から

非常時・災害対策研修会を開催しました！

岩手県薬剤師会常務理事 中田 義仁

当委員会では、今後の活動を見据え、昨年度開催された「日本集団災害医学会 災害医療認定薬剤師 災害薬事研修会」に委員を派遣しました。

当該研修会は、実践的で、災害時に薬剤師が活動するにあたって学ぶべきことの多い内容であったことから、当委員会として広く周知していきたいと考え、ワーキンググループを設置して、内容を検討しました。検討する中で、我々自身が手探りの状態であることから、当委員会メンバーと地域の災害対策担当者に参加してもらい、試行的研修会と位置づけて開催しました。

平成 28 年度非常時・災害対策研修会

日時：平成 28 年 7 月 10 日（日）

会場：岩手県薬剤師会館

- 内容：○災害時医療対応の原則（講義・演習）
○災害時の医薬品供給（講義）
○薬剤師の臨床判断（薬事トリアージの考え方）（講義）
○薬剤カウンターに相談に来た避難者への対応（ロールプレイ）
○災害に活動するために取り組んでおくべきことは？（SGD）



（「避難所アセスメントシート」記入訓練）



（デモンストレーション・ロールプレイ。左から、薬剤師役：中田、相談者役：湊谷、評価者：横澤）



（薬事トリアージ訓練）

：薬剤師役・相談者役・評価者の3人一組でロールプレイ



（スモールグループディスカッションの様子）

【研修会を終えて】

災害時に地域でリーダーを担う薬剤師の育成と災害時に強い薬剤師の育成を目的としてプログラムを作りました。

参加者は、初めての用語や演習内容のため、戸惑いを感じられましたが、ロールプレイでは、どのグループも、しっかり聞き取りを行い、収集した情報をもとに、判断・評価がしていたことが印象的でした。そして、お薬手帳の有用性に改めて気付かされたように感じました。

臨床判断のロールプレイは、災害時だけでなく日常に相談に来られる地域住民にも活かすことができるスキルであることを体感いただいたと思います。

グループワークでは、薬局においても、地域薬剤師会においても、「普段からの取組みが大切」ということが共有できたと思います。

本研修会を検証し、より良いものにしていききたいと思います（地域で実施したいという場合は、是非、ご相談ください）。

私どもの薬局は、近隣の開業医が往診を行っていることもあり、開局当初から在宅医療に携わることができていました。今までは、病院指示型の在宅でしたが、先日ケアマネ提案型の在宅が始まりましたので、ご紹介させていただきます。

○はじめ

ある日、いつも近隣の処方箋を持ってきてくださる A さんとそのケアマネージャーさんが一緒に御来局されました。

前回よりドネペジルが追加になりましたが、ケアマネージャーさんの訪問の際に薬が飲めていないことが発覚し、薬剤師が介入して欲しいとの依頼がありました。元々来局間隔が若干ずれている方でしたが、薬局での受け答えもしっかりしており、特に心配もしていませんでした。

○訪問

その日のうちにケアマネージャーさんとの同行で訪問しました。

テーブルの上に前回お渡しした薬が、袋ごと残っていました。

それ以外にも、総合病院・診療所など4ヶ所からの薬が山のようにありました。



その家は、奥さまと二人暮らしの老老介護（二人合わせて170歳）で、他の病院は奥さまと一緒に通院なさっていたようです。

奥さまの薬は、ほぼ残薬が無かったため、付き添うついでに薬をもらってきてこのような状況に

陥ったと思われます。

○調整・改善・その後

患者様と奥様の了解をとり早急に残薬の解消と服薬の改善にとりかかりました。

幸いにも奥さまは薬の管理はできているので、すべて一包化としてお薬カレンダーを活用して奥さまに声かけをお願いしました。

また、各処方医にも現状を報告して、処方日数の変更・調整等ご協力をいただきました。

まだ途中段階ですが、服薬は格段に向上し、残薬も解消されつつあります。また、コンプライアンス向上により、血圧やメンタル面も改善されてきています。

○最後に

処方箋への医師の指示なしでの訪問には、抵抗があるかもしれませんが、今回の事例と同じような状況の患者さまはたくさんいると思います。

会員の皆様も、積極的に外にでて在宅に係わっていただきたいと思っています。

<今年度の花巻市薬剤師会での活動予定>

健康ライフサポート薬局認定研修

6月30日（修了）

フィジカルアセスメント研修Ⅰ

（血圧測定）

11月（未定）

フィジカルアセスメント研修Ⅱ

（肺・呼吸音の聴診）



第87回日本薬剤師会総会における学薬活動報告について

岩手県学校薬剤師会 会長 宮手 義和
(公益社団法人日本薬剤師会代議員)

平成 28 年 6 月 25 日、26 日に東京都江東区東陽 6-3-3 のホテルイースト 2 1 を会場に第 87 回日本薬剤師会総会が開催されました(写真)。今回の総会は俗にいう決算総会で、新理事者や監事選任のほか、会務並びに事業報告の報告と決算承認が主な議題の総会でした。その総会において学校薬剤師に関する項目も報告されていたので紹介いたします。なお、東北学校薬剤師会連合会や学薬東北ブロック会議報告として畑澤昌美先生から既刊に投稿報告されている項目は省略しました。

1) 学校薬剤師ブロック連絡会議(開催実績)

平成 27 年 6 月 14 日:四国ブロック連絡会議
同 7 月 25 日:東北ブロック連絡会議
同 7 月 26 日:近畿・大阪ブロック連絡会議
同 9 月 5 日:九州ブロック連絡会議
同 10 月 31 日:東海ブロック連絡会議
同 11 月 19 日:東京ブロック連絡会議
同 12 月 12 日:中国ブロック連絡会議
同 12 月 20 日:北陸信越ブロック連絡会議
平成 28 年 3 月 6 日:関東ブロック連絡会議
同 3 月 7 日:北海道ブロック連絡会議

2) 日本薬剤師会学校薬剤師活動方針

平成 27 年度も学校薬剤師が現場で活用できる資材等の立案・作成を、学校薬剤師部会を中心に検討を継続した。また、活動方針については、学校薬剤師組織の統合を踏まえ、統合後の活動方針等を盛り込むべく、事業計画の実施状況を確認しつつ改定に向けた検討を学校薬剤師部会で継続した。

3) 関係団体・関係行政との連携強化

平成 27 年度も日本学校保健会に役員を派遣し、学校保健活動に資する事業の企画・立案や啓発資

材の作成等への協力を継続している。本年度も関係団体とさらなる連携強化を図るため、日本学校保健会の求めに応じ、同会が行う医薬品教育や学校環境衛生等の実践的課題への対応に関する事業に助成金を交付した。また、学校薬剤師部会の研修事業として「くすり教育研修会」を開催する上で、日本学校保健会に後援を依頼し、養護教諭等の学校関係者への周知依頼の協力を要請し連携等を図った。

さらに、本年度も、くすりの適正使用協議会と連携し、学校における「くすり教育」への支援等を協議するため合同検討会を継続した。

4) 危険ドラッグ等の薬物乱用防止啓発活動の推進

本会では、危険ドラッグなどの薬物乱用防止啓発活動を推進するために、学校薬剤師が行う一次予防である未然防止啓発活動に加え、国民に対する啓発活動を公衆衛生委員会において検討することとした。同委員会では、「第四次薬物乱用防止五か年戦略」及び「危険ドラッグの乱用の根絶のための緊急対策」フォローアップ等を踏まえ、啓発資材活用促進やさらなる会員への啓発等について検討を継続した。また、本年度も学校薬剤師部会において、予防教育の重要性を再認識し学校薬剤師にその重要性を広めるために、全ての高等学校及び中学校で年 1 回は薬物乱用防止教室を開催すること、小学校においても薬物乱用防止教室の開催を推進するよう努める必要があることなどをポイントに置き研修会等を開催し、国が推進する施策等の周知・徹底を継続した。

以上が日本薬剤師会の本体事業として活動した結果として報告された項目です。次に日薬学校薬剤師部会として活動した結果の概要を記述しま

す。

5) 学校薬剤師部会としての活動

学校薬剤師部会は、大学を除く国公立の学校における保健管理に関する専門的事項に関し、技術及び指導に従事し、環境衛生検査や学校環境衛生の維持及び改善に必要な指導・助言を行っている。さらに、従来の学校薬剤師の活動に加え、学習指導要領に対応した「くすりの正しい使い方」の広範な周知や、学校薬剤師に今後期待される新たな業務等を支援することを目的に活動している。本部会は平成24年度よりWGを立ち上げ、学校薬剤師の諸課題等について検討を行っている。特に研修会・会議として、①くすり教育研修会、②学校薬剤師研修会、③学校薬剤師部会全国担当者会議を開催した。また、関係法規・関係制度等への対応としては、学習指導要領への対応、学校保健安全法等への対応、幼稚園、保育所の一元化への対応などを行った。さらに学校薬剤師関連会議への対応としては、①学校環境衛生・薬事衛生研究協議会への参加支援・協力、②全国学校薬剤師大会・全国学校保健研究大会への参加支援・協力、③文部科学省事業「土曜学習応援団」への協力などを行ったとの報告がされた。

日薬総会では各ブロック（全国10ブロック）からの代表質問も行われ、一人一校担当制への日薬の考え方、こども園における検査項目、学校薬剤師部会負担金（寄付金）などについて質問が出ました。協議の内容については日薬誌の総会号をご覧ください。



【写真】日本薬剤師会総会の様子



地域薬剤師会の動き



一 関 薬 剤 師 会

一関薬剤師会は例年と同じ様な事業を行いました。まずは6月に総会から始まり、7月にビアパーティーが行われ（問屋勤務、一般薬局、調剤薬局 etc、会員となっている）薬剤師と卸業者さん、薬局の事務担当者、薬局の従業員等関係している皆さんが集い楽しい時を過ごしました。会員店同士の交流には最高の場と思います。



9月には、リレーフォーライフが一関市のユードームで行われました。ガン患者様を始め大切な方をガンで亡くされた方々も県外から沢山来られていました。会員の薬剤師だけではなく会員の家族、知人等多数の方々に参加され心をつにしました。今年は平泉で9月10日、11日に開催されます。

8月25日一関地域保健医療、キャリアアップ研修会、4回のうち第1回が開催されました。一関薬剤師会がプロデュースし「脳卒中と高血圧治療等について」と題し、やまぶき薬局 山内信哉先生を講師とし開催されました。「岩手県が脳卒中死亡率全国ワースト1」から脱却する事を目指し脳卒中宣言事業として「脳卒中予防を推進する」為地域住民の健康の増進を図る事を目的としています。

学校薬剤師会では、学校や老健施設、その他要請を受けた場所へ「薬物乱用防止講座」合計45講座講師として出向きました。また12月16日に

会長 小笠原 慈夫
は養護教諭との合同研修会が県立南光病院、臨床心理士の先生を迎えて一関ベリーノホテルに於いて開催されました。

昭和20年、戦後海外の食品が日本に輸入されるようになってから、日本の食文化が大きく変わりました。これにより農耕民族であるはずの日本人の穀物や野菜を主に接種すべき体質の身体に脂質の多い食品が入る事によりガン、心臓病、脳卒中など生活習慣病が世の中に蔓延し、今や病気になり、薬を服用していないの方が少ない現状です。（勿論、それを調剤しているのが我々なのですが・・・）国としても医療費はパンク状態と言った状況で、これからは「治療より予防」を訴え、今後のOTCを改めて進めて行こうと言う方向性です。

何と言っても「食」が大切です。小さい子供からの「食育」がうたわれています。幼稚園や保育園の先生からも登園するや元気の無い児童が居て聞いてみると朝食を食べて居ないという「考えられない事実」が度々見え隠れしている現実です。

こういう事を考えながら今年度は「かかりつけ薬剤師・町の薬局（一般販売業）の薬剤師として研修会を開催し、知識技術の向上を目指して地域に貢献して行かなければと思っています。



会長 金澤 悟

二戸薬剤師会総会を、畑澤岩手県薬剤師会会長をお迎えして4月25日（月）に開催いたしました。岩手県薬剤師会会長をお迎えしての総会は初めてでした。会員が薬剤師会会長のお話を直接お聞きすることは良いきっかけになったと感じています。懇親会におきましても、畑澤会長との懇談がいつまでも続き貴重な時間を過ごさせていただきました。

さて、今回の総会では3つの項目について会員から了解を頂きたい議案とお願いを承認して頂きました。

まず1つ目は、新しい委員会の設立です。実は、数年間悩んでいた課題でした。二戸地区は全国でもトップクラスの「肥満児」が多い地域です。二戸地区学校医連絡協議会においても大きな課題となり、養護教諭の先生方や医師会の先生方がご尽力している状態です。そんな環境で、薬剤師会は何を行動したらいいか悩んでいました。思い切って、各地区の教育長の方々や養護教諭の先生方に相談させて頂きヒントを頂きました。出した結論が、学校薬剤師が生徒に対して生活習慣改善のアドバイスを行っても、父母の方々の支援が無ければ実行が難しいことでした。そのため、本年度より「肥満児対策委員会（仮称）」として各学校、特に小学校を中心に「日常生活の食事や運動」についてPTAの方々へお話しさせて頂くことを提案し、新規事業として了承されました。事業が軌道に乗るのは、10年はおかかると思います。今現在もモデル地域として行っていた浄法寺地区の研修会を継続させながら、他地区へ徐々に反映させたいと考えております。

第二に、三陸沖地震への義援金などについての支援体制についてです。当初の支援体制は「5年を目途に、二戸地区に避難されている方々への支援」でした。その5年が経過し二戸市役所とも相談して、今年度以降は「救急箱セット」を支援物資として提供することとなりました。二戸保健所

宮手先生にも相談し、市役所への贈呈などに問題ないかどうかご指導を受けました。

第三に、各委員会委員長の年齢が高齢化になってきました。既に地元の薬剤師では事業を運営できない状態になっており、チェーン店の皆さんの参加で事業が何とか継続できる状態になっています。今後、数年中に委員長（理事）の若返りを図らなければいけなくなっています。県内の薬剤師会でも同じような悩みもあると思うのですが、二戸地区は深刻な事態になっています。

以上、今年度事業運営の柱と悩みをご紹介させて頂きました。



検査センターのページ



平成28年度全国試験検査センター連絡協議会が開催されました

岩手県薬剤師会検査センター

所長 宮手 義和

(一般社団法人岩手県薬剤師会副会長)

全国都道府県薬剤師会が運営している試験検査センターの連絡協議会が6月2日、3日に岐阜県岐阜市にて開催され、嶋次長、吉田技師、小生の3名が参加してきましたので報告を兼ねて寄稿させていただきます。一日目は長良川国際会議場5F会議室(写真1)、二日目は(一財)岐阜県公衆衛生検査センター(写真2)を主会場として開催されました。

第一日目：全国の会営検査センター並びに東京都の衛生検査機関の人事考課制度について3題の発表に続き、試験検査センター委員会報告、岐阜県公衆衛生検査センターの紹介が行われました。また、協議会終了後、全国からの参加者と岐阜県公衆衛生検査センターの皆さんとの情報交換会が開催されました。



写真1. 会場から見える金華山

二日目は、一般財団法人岐阜県公衆衛生検査センターの見学会が参加者43名を3班に分け、1班あたり15名程度の人数で行われました。

第一日目は、日本薬剤師会試験検査センター委員会の川村仁委員長の司会にて協議会が進行されました。日薬代表のあいさつとしては副会長の生出泉太郎先生が「今回、日薬副会長として最後の地方でのご挨拶になりますが、本日は全国から検査センターの皆様にお集まりいただき、人事考課制度、精度管理、機能性表示食品の崩壊試験についての協議会を開催します。また、明日は岐阜

県検査センターを見学させていただくことになっています。情報を共有して各センターの運営がうまくいきますようしっかり研修をしていただきたい。今回の開催に当たり岐阜県薬剤師会、岐阜県公衆衛生検査センターの皆様には大変お世話になりました。深く感謝いたします。」とのあいさつがなされました。以下、研修・協議、見学会の様子を一部報告します。

最初の協議発表は、岐阜県公衆衛生検査センターの小川宗治副理事長から岐阜県公衆衛生検査センターにおける「人事考課制度」と題して、①人事考課制度策定の経緯、②制度の内容、③運用のメリット、デメリット、④制度の波及効果の順に説明がありました。まず、公衆衛生検査センターの概要として昭和48年に岐阜県薬剤師会営として設立し、その後、昭和56年に岐阜県、岐阜の市町村、会営センターが拠出によって財団法人として切り替え設立を行った組織です。従業員数は正社員が80名(男45名、女35名)、嘱託職員7名、パート勤務者38名で総勢125名の大所帯(岩手県薬検査センターの約4~5倍)な組織です。平均年齢は40歳5か月で職員の平均勤続年数は10年1か月で、組織部署としては4部9課1支所16係と岐阜県地球温暖化防止活動センターから構成されているとのことでした。人事考課制度は平成19年4月から取り入れ、勤務する職員の業務遂行能力、適性及び業績の考課を適正かつ統一的、定期的を実施し、その評価に基づき昇給、昇格、昇任、異動及び教育等の人事管理に反映させ、経営効率の向上等に資することを目的に運用していました。制度としては、考課の対象範囲がパートを含むすべての職員、考課頻度は年2回(4月、10月)、自己評価書の提出とともに考課者については表1に示すようにおおむね三次考課まで行い、100点満点評価でランク分けが行われます(表1)。その結果を賞与、昇給、昇格の参考にし

ているとのことでした。

表1 被考課者と考課者の対比

被考課者 \ 考課者	1次考課者	2次考課者	3次考課者
1級職員(主事・技師)	係長	課長	部長
2級職員(主任)	係長	課長	部長
3級職員(係長)	課長	部長	理事
4級職員(課長補佐)	課長	部長	理事
5級職員(課長)	部長	各部統括理事	副理事長
6級職員(次長、部長)	理事	副理事長	理事長

運用のメリット、デメリット及び制度の効果については、メリットとしては①組織として適度な緊張感、規律性が維持できる、②年功序列などの不公平感の払しょくができる、③職員のモチベーションアップができるなどで、デメリットとしては①考課者による評価のばらつき、②当初は既得権者の不満などで、考課者への対応として考課についての研修の実施、既得権者へは面談等による説明や他の制度との併用による急激な変容の回避などを行ったとのことでした。制度の効果としては、給与制度の変更として各級の基本給に上限・下限を設定し級と基本給と基本給の逆転を抑止できたこと、職員の意向調査を実施し課長との面談を通じて個人的な業務上の問題点を把握できたことが挙げられました。

2番目に、東京都の施設である東京都健康安全研究センターの守安貴子氏から都における人事考課制度と試験検査技術職員の専門育成との演題で報告がされました。まず、健康安全研究センターについて、昭和24年3月に都立衛生研究所として設立され、平成15年に薬用植物園や薬事衛生事務所など都立の衛生関連機関が統合して現在の形になったこと、特徴としては監視部門と研究部門が一体化した組織であることなどが紹介されました。組織構成としては、企画調整部、広域監視部、微生物部、食品化学部、薬事環境科学部、精度管理室に分かれて仕事をしているとのことでした。人事考課制度は昭和61年から業績評価と自己申告制度が導入され、平成14年からは人材情報も効果に加えられ、さらに平成16年からは定期評定の本人への開示、苦情相談制度の創設、評価の昇給への反映等が行われたと紹介されました。自己申告制度では当初申告で自己目標を設定し、中間・最終申告で自己採点を行い、職場や管理職との共通意識の獲得などを促進しているよう

でした。特に、研究センターの場合には技術的面で評価も必要であり、スキルアップ研修が欠かせないと力説されていました。

鹿児島県薬剤師会(発表者:検査部長 山口やよい氏)でも人事考課制度を導入し導入していましたが、鹿児島県薬も本県と同様に検査センター、会営薬局、事務局と業務が大きく異なる組織を抱えており、一括の評価方式では業務との整合性に欠けることから、人事評価に造詣が深い会社に依頼し考課制度を見直したとのことでした。考課項目については業務ごとに違っていても、基本的には前施設と同様でした。特に興味を引いた点としては、業者が介入した考課制度はかなりきめ細かいチェックを日常的に行っていることでした。

考課制度の発表の後は、試験検査センター委員会から「平成27年度医薬品精度管理試験結果の概要」と「医薬品形状の機能性表示食品を対象とした崩壊試験」の2題について報告がありました。「平成27年度医薬品精度管理試験結果の概要」について、精度管理試験の背景として、会営あるいはそれに準ずる検査センターは薬機法に規定する試験検査機関であること、薬局のための試験機関であること、試験を依頼されて受理できないセンターでは困ること、薬局製剤の試験経験のないセンターが増加していること、全体の技術向上が必要であることなどが挙げられました。参加機関は42施設で模擬試料としては薬局製剤を模したアセトアミノフェン0.36g、カフェイン(水和物)0.075g、乳糖(水和物)を加えて全量を6gに調製した散剤を、薬局製剤指針「19」かぜ薬5—②に従って定量することが課題でした。結果としては全施設が試験条件の逸脱はなく、カフェインについてはZスコアが2以下で良好でしたが、アセトアミノフェンでは1施設がZスコア3以上となっていました。

今後ともいろいろな精度管理を実施していく予定であるとのことでした。

「医薬品形状の機能性表示食品を対象とした崩壊試験調査結果報告」についての報告で、調査の目的としては、これまでの多くの試験や調査から崩壊性に問題がある機能性食品、健康食品が散見されたことから、機能性表示食品が認められて1年を経過し、岩手県では250品目以上の製品が届け

られていることから、全国の検査センターの協力のもと、法改正といった面からの流通品の品質について検討することでした。調査方法としては、日薬委員会が選んだ錠剤タイプ11製品、カプセルタイプ11製品を第17改正日本薬局方一般試験法「6.09 崩壊試験法」の規定に準じて試験を実施した。結果・考察としては①崩壊性に疑いがある製品が確認された。②承認審査を受けていないので、安全性や有効性が担保されていない。③崩壊試験を本当に第三者機関で実施したデータを用いているか不明、④消費者庁の公表データを見る限りでは、どのような手順や規格値で試験したのかわからないメーカーが多い、⑤崩壊性の悪い商品に対し安易に補助板を用いた試験実施している可能性もある、などの点が指摘されていました。機能性食品等の販売に薬剤師が関与する場合には、成分の純度、安全性、有用性のみならず、製品剤型の崩壊性や溶出性も考慮する必要があると思います。

最後に、二日目に見学予定の岐阜県公衆衛生検査センターの紹介が、理事の中村弘揮氏からなされました。事業としての規模は売り上げでは岩手県薬センターのおおよそ3～4倍(7.5～8億円)で、事業所として岐阜市の本所以外の飛騨支所、名古屋営業所を設置しているとのことでした。施設としては敷地面積が2488.39㎡(岩手県薬センターの0.8倍)、建物面積が検査棟(919.03㎡)と管理棟(504.86㎡)の計1423.89㎡(同じく1.5倍)、延床面積が検査棟2,344.38㎡と管理棟1,264.61㎡の計3,608.99㎡(同様に2倍)で、検査棟は鉄筋コンクリート造3階建、管理棟は鉄骨造3階建てでした。事業内容としては①検査分析事業、②環境調査・コンサルティング事業(各種計画策定、環境影響評価、廃棄物処理施設工事管理)、③地球温暖化防止活動(岐阜県地球温暖化防止活動推進センターへの指定)、など岩手に比べればコンサル事業やエコ事業への特殊な分野での事業も行っているとのことでした。さらに検査分析事業でも先天性代謝異常等の臨床検査も行っており、年間売上上の10%程度を占めているようでした。柱となるそれぞれ年間2億数千円を稼ぐものは環境と水質で、次いで食品が1億程度の売り上げとのことでした。



写真2. 岐阜県公衆衛生検査センター

協議会、研修会の後は、長良川川端の「鶴匠の家 すぎ山」にて、参加者とセンター職員の情報交換会が開催されました。岐阜県薬剤師会の山崎会長から織田信長が築城した岐阜城やお城がある金華山や岐阜の方言についての解説を含む、歓迎のあいさつが述べられた後、鶴飼を目の当たりにして新鮮な鮎を食べながらの懇親会となりました(写真3)。



写真3. 長良川の鶴飼

二日目は3班に分かれ見学会となり、終了後解散となりました。

今回の連絡協議会では岐阜県公衆衛生検査センターの皆様はじめ岐阜県薬剤師会の山崎会長先生には大変お世話になりました。本当にありがとうございます。

青森から始まった連絡協議会の地方開催はいつまで継続するかわかりませんが、全国検査センター職員の連携確保には非常に役立つ会議であり、2から3年に一度の地方開催でもよいので日薬での検討を期待します。



骨太の方針2016

第24回参議院議員通常選挙は7月10日に投票が行われ、無事3期目の当選を果たすことが出来ました。偏に皆様方の熱いご支援の賜物と、この誌面をおかりして心より御礼申し上げます。

選挙戦の序盤、イギリスの国民投票でEU離脱が勝ったという衝撃的なニュースが全世界を震撼させ、株価は大きく下落し、外国為替市場では一時1ドル100円を割り込むなど世界経済に対する不安が急激に高まり、論戦の一つとして経済問題が大きくクローズアップされ、選挙結果への影響が懸念されましたが、結果的には自公与党政権が信任を得るところとなりました。

さて、「経済財政運営と改革の基本方針2016」いわゆる骨太の方針2016は、「日本再興戦略2016」、「規制改革実施計画」や「ニッポン一億総活躍プラン」などとともに、6月2日の臨時閣議にて決定されました。

今回の骨太の方針では現下の経済情勢について、アベノミクスの取り組みにより企業収益は過去最高水準となり就業者数は増加し、3年連続でベースアップの流れも広がりつつあるなど雇用・所得環境は大きく改善しているものの、中国の成長鈍化や石油などの資源価格低下により世界経済の不透明感が増していることもあって、国内経済は個人消費や設備投資に力強さを欠いており、アベノミクス第2ステージのもとで、経済・財政一体改革を推進していく必要があるとしています。また、昨年度の骨太の方針で決定した、2020年度のプライマリーバランスの黒字化の実現と2018年度までの3年間を集中改革期間として取り組みを進める「経済・財政再生計画」を着実に実施するとともに、経済・財政再生アクションプログラムに沿ってワイズスペンディングを強化す

ることなども明記されています。

社会保障については、国民皆保険・皆年金を維持し次世代に引き渡すことを目指し、「経済・財政再生計画」に掲げられた医療・介護提供体制の適正化、負担能力に応じた公平な負担、給付の適正化、薬価・調剤等の診療報酬及び医薬品等に係る改革等に係る項目について、改革工程表に沿って着実に実行していくとしています。

具体的には、医療費適正化計画に後発医薬品の使用割合80%に向けた使用促進策を記載するとともに、重複投薬是正に関する目標などの設定を行い、その取り組みを推進するとしています。また、今年度の診療報酬改定の影響、特に調剤報酬について、患者本位の医薬分業を実現する観点から、かかりつけ薬剤師による服薬指導等の効果を検証するとしています。

消費税率の引き上げが先送りされたなかで、再来年には医療報酬と介護報酬の同時改定が予定されています。医療や介護など社会保障の充実を図り、誰もが安心して心豊かに暮らせる社会を築いていくため、これからも国政の場でしっかりと仕事をして参りたいと思います。

藤井もとゆきホームページ <http://mfujii.gr.jp/>



最近の話題



THE BIG ENDEAVOR

スペースシャトル計画をご存じだろうか？1981年から2011年にかけて行われた宇宙輸送システム（Space Transportation System）と呼ばれ、国際宇宙ステーション開発に貢献した、アメリカが開発した宇宙船である。スペースシャトルは航空機のような形態をしており、再利用が可能という点は画期的であった。しかし、2004年1月に当時の大統領ジョージ・W・ブッシュの命令によりスペースシャトルは2011年8月にその役割を終えることとなった。スペースシャトルは全部で5機製造されたがそのうちの1機である「ENDEAVOR号」がロサンゼルス市のCalifornia Science Centerに展示されている。(写真1)スペースシャトルの移動はニュースでも取り上げられているので、記憶にある方もいるだろう。スペースシャトル打ち上げの1回あたりのコストが莫大であり様々な批判もあったことも計画中止の要因であったとも言われている。



同様にアメリカの医療費も莫大であり、医療費抑制の政策が施されているが未だ解決には至っていないことはご承知の通りである。日本においてもこの4月の診療報酬改定で「かかりつけ薬剤師」制度の新設など、薬剤師を取り巻く環境は大きく変わっている。今回「ENDEAVOR号」が展示

されているロサンゼルス市を訪問し、アメリカにおける実務実習について話を伺う機会を得たので簡単に紹介するとともに、今後の実務実習に対する課題について述べたいと思う。

アメリカの薬学部の修業年数は4年間であり、いわゆる実務実習に相当するAdvanced Pharmacy Practice Experience期間は最低36週間必要とされている。主要な実習場所はcommunity pharmacy（地域薬局）、ambulatory care（外来診療）、hospital pharmacy（病院薬局）、inpatient general medicine patient care（入院総合内科）を最低160時間行うことが必要とされている。実習施設は病院、薬局とセットになっており、都市部の人気のある実習施設は優秀な学生でなければ参加できないということであった。そもそも、教養を別の大学で学んだ後に薬学部へ入学するために、その平均年齢は26歳と高く、さらには薬剤師となることが目的ではなく、薬剤師として社会貢献するという明確な目的をもって入学しているため、モチベーションが高い点は日本とは大きく異なる点であると感じた。さらにPharm.D.コースへ進学し研鑽を積む学生も多いそうである。現在カリフォルニア州には17の薬学部があり、薬剤師が増えすぎたために薬剤師が仕事を失うことが問題となっていた。従って一般的な薬剤師であれば40歳くらいまでには失職してしまうこともあるそうで、生き残るためには特別なスキルや資格が必要になっているそうである。今回訪問したフェアモント薬局は薬局製剤を行うことで市販されていない薬を製剤することができる「特徴」があった。そして、常にチャレンジすることを忘れてはいなかった。フェアモント薬局のオーナーは40歳の時に英語もよく話せない状況でキューバから家族で移民し、薬学部へ入

学して薬剤師となったとのことで、その努力は並ならぬものであったと想像できる。(写真2)

今回の視察を通じて学生にもチャレンジすることを説いていくことが大切であると思うが、実務実習は将来の薬剤師を育てるという大きなチャレンジであり、「THE BIG ENDEAVOR」である。

改定モデルコアカリキュラムに基づいた実務実習が平成31年からスタートする。大きな特徴は現在の3期から4期となり、薬局実習、病院実習が連続して行われることになるようである。また、1施設あたり2名の受け入れとなることから、実務実習受け入れ体制の準備も必要となってくる。今後、大学、県薬、病薬の3者で岩手版実務実習プログラムを早急に構築しなければならない。これまでの実務実習以上に学生にとって魅力ある実

務実習環境を整備することが急務であり、学生が大きく成長することができる実務実習とすることが我々に課せられた「THE BIG ENDEAVOR」であると感じた次第である。



スポーツファーマシスト

薬剤師のアンチ・ドーピング教育・啓発活動

岩手県薬剤師会常務理事 本田 昭二
(日本アンチ・ドーピング機構公認スポーツファーマシスト認定審査委員)

希望郷いわて国体開催も目前に控え、歓迎ムードが高まってきているところであります。

薬剤師のアンチ・ドーピング活動もこれをはじめにして推し進めていきたいと考えています。

特に、活動の柱となる、教育・啓発に関してはいわて国体が終了した後も、今度は国体へ送り出す立場として重要な活動になります。

現在、教育・啓発活動としては、各競技団体より岩手県教育委員会や岩手県体育協会を通じて依頼され、アンチ・ドーピング委員会委員を中心に講師派遣をしております。

講演内容としては、「最近のドーピングの話題」「基本的な知識、注意事項」、そして「どこに相談すればよいのか」等、スポーツ共通のルールであるドーピングを何とか理解、意識させるような構成になるよう心がけています。



(競技力向上支援事業(スポーツ医・科学WS):自転車)



(釜石高校 競技力向上のためのサポートプログラム)

その他、今年度から、選手が服用している医薬品について調査した内容について、禁止薬物が含まれていないかということを当会でチェックする取り組みも行っています。これは、岩手県体育協会が競技団体に呼びかけて、アンケート調査を行い、その結果をくすりの情報センターで確認し、回答

するというものです。

これらの活動を通じて、選手のドーピングに対する関心は以前より高まっていることは感じますが、実際には、不用意な薬の服用やサプリメントへの依存の高さを未だに感じており、関心はあるものの、まだまだ十分ではないという印象があります。

そこが今後の活動の課題であり、我々が果たすべき役割であると思います。

薬剤師のアンチ・ドーピング活動は始まったばかりです。いわて国体は、ゴールではなく、一つの通過点として捉え、岩手のスポーツの発展のため、我々薬剤師にしかできない支援を展開していきたいと思っておりますので、引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。



日時	場所	研修会名	講師
平成27年5月30日	第15回日本スポーツ・健康づくり歯学協議会	ホテルメトロポリタンNEW WING	本田 昭二
6月6日	第1回いわてアスレティックトレーナースキルアップ研修会	岩手県営スケート場食堂棟事務室	本田 昭二
7月7日	平成27年度岩手県高等学校教育研究会学校保健部会盛岡支部研修会	都南公民館小ホール	本田 昭二
7月28日	釜石高校運動部競技力向上のためのサポートプログラム	岩手県立釜石高校体育館	中田 義仁
8月29日	(公財)日本体育協会公認スポーツ指導者養成講習会：なぎなた	国立岩手山青少年交流の家	野舘 敬直
11月28日	競技力向上支援事業(スポーツ医・科学WS)：空手	国立岩手山青少年交流の家	佐藤 大峰
12月19日	競技力向上支援事業(スポーツ医・科学WS)：岩手県強化選手	岩手県立盛岡南高等学校トレーニング場	本田 昭二
12月20日	競技力向上支援事業(スポーツ医・科学WS)：クレール射撃	岩手県営スケート場食堂棟事務室	阿部 司
12月24日	国体大会実行委員会正式競技・特別競技第4回競技運営担当者会議	サンセール盛岡	熊谷 明知
12月26日	競技力向上支援事業(スポーツ医・科学WS)：自転車	岩手県営スケート場食堂棟事務室	野舘 敬直
平成28年1月17日	競技力向上支援事業(スポーツ医・科学WS)：ソフトボール	岩手県営スケート場食堂棟事務室	佐藤 大峰
2月28日	第23回スポーツ医科学懇話会	ケアセンター南昌	本田 昭二
2月28日	競技力向上支援事業(スポーツ医・科学WS)：ホッケー	岩手県営スケート場食堂棟事務室	野舘 敬直
3月17日	平成27年度国体担当者・71国体指導者合同会議	盛岡市勤労福祉会館	本田 昭二
3月27日	競技力向上支援事業(スポーツ医・科学WS)：軟式野球	岩手県営スケート場食堂棟事務室	本田 昭二
4月10日	競技力向上支援事業(スポーツ医・科学WS)：バスケット	岩手県営スケート場食堂棟事務室	野舘 敬直
6月4日	競技力向上支援事業(スポーツ医・科学WS)：バレーボール	岩手県営スケート場食堂棟事務室	佐藤 大峰
7月2日	競技力向上支援事業(スポーツ医・科学WS)：ソフトボール	岩手県営スケート場食堂棟事務室	佐藤 大峰

熊本地震 災害派遣活動報告（第3班）

派遣期間：平成28年5月17日～22日

派遣場所：南阿蘇中学校体育館

薬剤師：小野 泰孝、佐々木 千穂、阿部 司

【活動内容】

- 救護所災害処方箋調剤業務（モバイルファーマシーを活用した調剤など）
- 避難所環境衛生管理（温度・湿度・二酸化炭素濃度測定）
- 健康相談（OTC薬提供、受診勧奨など）

【考察】

この時期の南阿蘇村周辺は、通行止めの箇所があるものの、想像していたより医療機関が落ち着いていた。そのため、日赤チームも5月末までの活動が決まっており、派遣薬剤師の役目も終わりを迎えようとしている時期だった。

私たちの活動は、日々、日赤を含めた派遣チームが入れ替わる中で、業務の引き継ぎ・連携をしながら行われた。引き継ぎ時間が少ないと思われる時もあり、よりシンプルに、よりわかりやすく伝えること、そしてチームごとの垣根を作らない

ことが大事だったように思われた。

また、活動を通し重要性を再認識できたのが、お薬手帳の活用、薬剤師による臨床判断、一般用医薬品に対する知識であった。私たちが普段行っていることは間違っていないと感ずることができた。

前班の派遣活動報告にもある通り、これから先、地元薬剤師会が中心となり地域に密着した活動が大切になると思われる。方法は様々であるが、できる限りの支援を継続していきたいと思う。



（文責：阿部 司）



質問に答えて

Q. 糖尿病治療における最近の話題について

はじめに

平成 25 年に施行された改正医療法において、糖尿病は医療計画制度の根幹となる「5 疾病・5 事業 および在宅医療」の 1 疾病として取り上げられ、その指針では、「糖尿病の予防・治療には患者自身による生活習慣の自己管理に加えて、内科、眼科、小児科、産科、歯科等の各診療科が糖尿病の知識を有する管理栄養士、薬剤師、保健師、看護師等の専門職種と連携して実施する医療サービスが必要となる」と明記されている。このような状況の中で、DPP-4 阻害薬、GLP-1 受容体作動薬などのインクレチン関連薬やインスリン作用を介さない SGLT2 阻害薬など、相次ぐ新薬の登場により、複雑化する薬物療法における薬剤師への期待は益々高くなってきている。

ここでは、糖尿病治療における最近の話題として、メトホルミン、SGLT2 阻害薬の適正使用に関する Recommendation の改訂ポイントについて、また、日本糖尿病学会ならびに日本老年医学会の合同委員会より発表となった高齢者糖尿病の血糖コントロール目標を紹介する。

メトホルミンの適正使用に関する Recommendation

○ 2016 年 5 月 12 日 改定のポイント

2012 年 2 月 1 日に「ビッグアナイド薬の適正使用に関する委員会」からの Recommendation が発せられ、その一部を 2014 年 3 月 28 日に改訂した。現在、本邦で使用されているビッグアナイド薬のほとんどがメトホルミンであることや、内外の安全性に関するエビデンスについても、メトホルミンに関するものがほとんどであることを鑑み、今回、Recommendation も「メトホルミンの適正使用に関する Recommendation」とすることとしたが、多くの留意点はメトホルミンの配合薬

や他のビッグアナイド薬についても該当するものと考えられる。今回 2016 年 4 月 8 日に、FDA から Drug Safety Communication が出されたことを受け、従来のクレアチニンによる腎機能評価から推定糸球体濾過量 eGFR による評価へ変更することを主にしたアップデートを行った。

・腎機能障害患者（透析患者を含む）

腎機能を推定糸球体濾過量 eGFR で評価し、eGFR が 30 (mL/分/1.73m²) 未満の場合、メトホルミンは禁忌である。eGFR が 30～45 の場合には、リスクとベネフィットを勘案して慎重投与とする。脱水、ショック、急性心筋梗塞、重症感染症の場合などやヨード造影剤の併用などでは、eGFR が急激に低下することがあるため注意を要する。eGFR が 30～60 の患者では、ヨード造影剤検査の前あるいは造影時にメトホルミンを中止して 48 時間後に eGFR を再評価して再開する。なお、eGFR が 45 以上または 60 以上の場合でも、腎血流量を低下させる薬剤（レニン・アンジオテンシン系の阻害薬、利尿薬、NSAIDs など）の使用などによって、腎機能が急激に悪化する場合があるため注意する必要がある。

SGLT2 阻害薬の適正使用に関する Recommendation

○ 2016 年 5 月 12 日 改定のポイント

SGLT2 阻害薬は、広汎で複雑な代謝や循環への影響をきたしうることから、重篤なものを含む多様な副作用発症への懸念がもたれていた。そのため、発売から 3 ヶ月間に高齢者（65 歳以上）に投与する場合には、全例の特定使用成績調査が定められ、高齢者糖尿病における副作用や有害事象の発生率および注意点についての一定のデータの集積を行った。結果は、治験中に見られた有害事象や副作用の内容と大きく異なるものではな

かった。このため、これらの情報をさらに広く共有することにより、副作用や有害事象が可能な限り防止され、適正使用が推進されるようアップデートを行った。Recommendation は表1に示す。

・副作用の事例と対策

重症低血糖：重症低血糖をきたした症例の内訳として、インスリン併用例が最も多く、次いで、SU薬などのインスリン分泌促進薬との併用例があげられる。DPP-4阻害薬における重症低血糖の症例では、SU薬との併用が多かったことに比し、本剤ではインスリンとの併用例が多いという特徴があり、本剤による糖毒性改善などにより、インスリンの効きが急に良くなり低血糖を誘発する可能性がある。

ケトアシドーシス：インスリンの中止、極端な糖質制限、清涼飲料水多飲などが原因となり、血糖値が正常に近くてもケトアシドーシスの可能性がある。特に、全身倦怠・悪心嘔吐・体重減少などを伴う場合には血中ケトン体を確認する必要がある。

脱水・脳梗塞等：循環動態の変化に基づく副作用として、重症の脱水と脳梗塞の発生が報告されている。脳梗塞はSGLT2阻害薬投与後、数週間以内に起こることがほとんどで、ヘマトクリットの著明な上昇を認める場合があり、SGLT2阻害薬による脱水との関連が疑われる。また、75歳以上の高齢者あるいは65歳から74歳で老年症候群（サルコペニア、認知機能低下、ADL低下など）のある場合、また、利尿剤併用患者等の体液量減少を起こしやすい患者に対するSGLT2阻害薬投与は、注意して慎重に行う。

高齢者糖尿病の血糖コントロール目標について

高齢者は心身機能の個人差が著しいなどの特有の問題があり、さらに、高齢者糖尿病患者では、重症低血糖を来しやすいという問題点も存在する。重症低血糖は、認知機能を障害するとともに、心血管イベントのリスクともなり得る。このような現状を背景に、高齢者糖尿病患者の血糖コントロール目標について議論が開始された。

基本的な考え方は以下の通りである（表2）。

- ①血糖コントロール目標は、患者の特徴や健康状態（年齢、認知機能、身体機能、併発疾患、重症低血糖のリスク、余命など）を考慮して個別に設定すること。
- ②重症低血糖が危惧される場合は、目標下限値を設定し、より安全な治療を行うこと。
- ③高齢者ではこれらの目標値や目標下限値を参考にしながらも、患者中心の個別性を重視した治療を行う観点から、表に示す目標値を下回る設定や上回る設定を柔軟に行うことを可能としたこと。

おわりに

糖尿病治療における最近の話題について紹介した。薬物療法が多様化することにより患者個々の状態に合わせた、きめ細やかな処方設計が可能となっている。しかし、一方では、食事・運動療法の乱れや患者アドヒアランスの問題など、継続した糖尿病治療は容易ではない。糖尿病療養指導における薬剤師の役割は、服薬指導だけでなく患者のセルフケア支援やエンパワーメントにも積極的に関わることが求められる。患者のQOL維持への貢献のためにも、さらなる糖尿病治療における薬剤師の多面的な介入が望まれる。

盛岡赤十字病院 丹代 恭太

《参考》

- 1) 日本糖尿病学会 <http://www.jds.or.jp/>
- 2) 日本老年医学会 <http://www.jpn-geriat-soc.or.jp/>

表 1. SGLT2 阻害薬の適正使用に関する Recommendation

<ol style="list-style-type: none"> 1. インスリンやSU薬等インスリン分泌促進薬と併用する場合には、低血糖に十分留意して、それらの用量を減じる。患者にも低血糖に関する教育を十分行うこと。 2. 75歳以上の高齢者あるいは65歳から74歳で老年症候群(サルコペニア、認知機能低下、ADL低下など)のある場合には慎重に投与する。 3. 脱水防止について患者への説明も含めて十分に対策を講じること。利尿薬の併用の場合には特に脱水に注意する。 4. 発熱・下痢・嘔吐などがあるときないしは食思不振で食事が十分摂れないような場合(シックデイ)には必ず休薬する。 5. 全身倦怠・悪心嘔吐・体重減少などを伴う場合には、血糖値が正常に近くてもケトアシドーシスの可能性があるため、血中ケトン体を確認すること。 6. 本剤投与後、薬疹を疑わせる紅斑などの皮膚症状が認められた場合には速やかに投与を中止し、皮膚科にコンサルテーションすること。また、必ず副作用報告を行うこと。 7. 尿路感染・性器感染については、適宜問診・検査を行って、発見に努めること。問診では質問紙の活用も推奨される。発見時には、泌尿器科、婦人科にコンサルテーションすること。
--

表 2. 高齢者糖尿病の血糖コントロール目標 (HbA1c 値) について

患者の特徴・健康状態 ^{注1)}		カテゴリーI		カテゴリーII	カテゴリーIII
		① 認知機能正常 かつ ② ADL自立		① 軽度認知障害～軽度認知症 または ② 手段的ADL低下, 基本的ADL自立	① 中等度以上の認知症 または ② 基本的ADL低下 または ③ 多くの併存疾患や機能障害
重症低血糖が危惧される薬剤(インスリン製剤, SU薬, グリニド薬など)の使用	なし ^{注2)}	7.0%未満		7.0%未満	8.0%未満
	あり ^{注3)}	65歳以上 75歳未満 7.5%未満 (下限6.5%)	75歳以上 8.0%未満 (下限7.0%)	8.0%未満 (下限7.0%)	8.5%未満 (下限7.5%)

治療目標は、年齢、罹患期間、低血糖の危険性、サポート体制などに加え、高齢者では認知機能や基本的ADL、手段的ADL、併存疾患なども考慮して個別に設定する。ただし、加齢に伴って重症低血糖の危険性が高くなることに十分注意する。

注1)：認知機能や基本的ADL(着衣、移動、入浴、トイレの使用など)、手段的ADL(IADL:買い物、食事の準備、服薬管理、金銭管理など)の評価に関しては、日本老年医学会のホームページを参照する。エンドオブライフの状態では、著しい高血糖を防止し、それに伴う脱水や急性合併症を予防する治療を優先する。

注2)：高齢者糖尿病においても、合併症予防のための目標は7.0%未満である。ただし、適切な食事療法や運動療法だけで達成可能な場合、または薬物療法の副作用なく達成可能な場合の目標を6.0%未満、治療の強化が難しい場合の目標を8.0%未満とする。下限を設けない。カテゴリーIIIに該当する状態で、多剤併用による有害作用が懸念される場合や、重篤な併存疾患を有し、社会的サポートが乏しい場合などには、8.5%未満を目標とすることも許容される。

注3) 糖尿病罹病期間も考慮し、合併症発症・進展阻止が優先される場合には、重症低血糖を予防する対策を講じつつ、個々の高齢者ごとに個別の目標や下限を設定しても良い。65歳未満からこれらの薬剤を用いて治療中であり、かつ血糖コントロール状態が表の目標や下限を下回る場合には、基本的に現状を維持するが、重症低血糖に十分注意する。グリニド薬は、種類・使用量・血糖値等を勘案し、重症低血糖が危惧されない薬剤に分類される場合もある。

【重要な注意事項】

糖尿病治療薬の使用に当たっては、日本老年医学会編「高齢者の安全な薬物療法ガイドライン」を参照すること。薬剤使用時には多剤併用を避け、副作用の出現に十分に注意する。



岩手医科大学薬学部講座紹介

講座での学生の様子

岩手医科大学薬学部機能生化学講座 中西 真弓

この度は「イーハートブ」の岩手医科大学薬学部講座紹介に寄稿する機会を頂き、心よりお礼申し上げます。

私が在籍しております機能生化学講座は、生物系薬学を担当する講座の1つとして発足し、薬学部の開設に尽力された初代学部長の二井将光先生（現岩手医科大学名誉教授）が初代教授を務められました。その後、二井先生は一期生の卒業を機にご退職され、平成27年から中西が講座を主宰しております。医療人の育成と研究を通じた社会貢献を目指し、現在の講座スタッフである後藤奈緒美助教と關谷瑞樹助教、2名の研究補助員とともに、学生の教育と研究に励んでいます。本稿では、日頃薬剤師の先生方に実務実習をご指導いただいている学生達の講座での（当講座での、ということになりますが）様子についてご紹介したいと思います。

薬学部の学生は4年生になると講座に配属されます。まだ講義や実習も多く、四六時中講座にいるわけではありませんが、それまで常に同年代の学生同士で行動していたのが、多くの時間を研究室でスタッフに囲まれて過ごすこととなります。学生は初めのうち緊張し、どう振る舞ったら良いかわからず「お客さん」的な存在です。勉強に取り組む姿勢が不十分な学生も見受けられます。日々の講義、始まったばかりの卒業研究、年末の共用試験の準備、どれもそれほど高いハードルではないはずですが、手一杯な様子です。

4年生をクリアして5年生になると、講座でも先輩になります。毎年春に4年生の歓迎を兼ねて講座の学生とスタッフでバーベキューをしますが、この会の運営は全て5年生に任せています。この頃になると昨年お客さんだった時とは大違いで、4年生を気遣い主体的に動く頼れる先輩になっています。学業面では振るわなくても、こういう場面でリーダーシップを発揮する学生もあり、新たな一面を発見することもあります。そして、5月からいよいよ実務実習が始まり、学生達は文字通り期待と不安に胸を膨らませ、薬剤師の先生方のおられる医療現場に向かいます。5年生とは言っても、まだ未熟さを残しており、先生方の手を焼かせることも少なからずあると思います。患者さんに配慮しつつ、一方でマイペースな学生を指導する難しさは如何ばかりかと拝察致します。しかし、先生方のご指導は、多くの学生に

変化をもたらしています。現場での実務を通して自分の将来像を具体的にイメージできるからでしょうか、実務実習を終えて大学に帰ってくると、見違えるほど成長している学生がいます。6年生になってもその効果が持続し、卒業と国家試験に向けた勉強、卒業研究、就職活動などに積極的に取り組んでいます。講座内で行う5年生の卒業研究報告会では、6年生に座長を任せ会の進行を一任しています。質疑応答では会場からの質問を促し、自らも質問して場を盛り上げてくれ、我々教員はその成長に目を細めています。もちろん、皆がこうした成長過程を辿るわけではありませんが、好ましい変化を遂げる学生が1人でも増えてくれるよう、また、変化が将来にわたり持続するよう指導にあたりたいと思います。

岩手医科大学に薬学部が開設されて今年で10年目になります。これまでに500人近くの卒業生を輩出してきました。卒業生が社会に出て医療人として奮闘している様子を見聞するにつけ、誇らしく嬉しく思い、このまま順調に成長し続けて欲しいと願います。社会に貢献できる人材の育成は、言うまでもなく、医療の現場で活躍されている薬剤師の先生方のご協力により可能になったことです。また、平成31年度から実務実習も改訂版薬学教育モデル・コアカリキュラムに準拠して実施することになりますが、このカリキュラムでは、今まで以上に病院・薬局と大学との緊密な連携が重要になっております。これまでのご指導に感謝致しますとともに、今後とも学生の教育にお力添え下さいますよう、心よりお願い申し上げます。



機能生化学講座の教員と配属学生。今年のBBQは凍える寒さでした。



暑い夏をアロマで乗り切る！

今年の夏は、全国的に暑いとされています。ここ岩手も、西日本からすると気温は低いかもしれませんが、暑くなるでしょう。暑いと体力が奪われます、そうすると体調も崩しがちに…。

そこで、ペパーミントの出番です！ペパーミントの精油（エッセンシャルオイル）は香るだけでもそうですが、特に皮膚につくと「スーっと」涼しさを感じます。ただ、精油をそのまま皮膚につけることはNGなので、最後におすすめレシピをご紹介します。

ペパーミントは、品種がとても豊富です。庭やプランターで育てている方も多いのではないのでしょうか。料理にデザートに、食べるだけではなく是非☆精油も活用してみましよう。

《ペパーミント Peppermint》

学名：Mentha piperita

原産地：地中海地方、西アジア

科名：シソ科

抽出部位：葉

抽出方法：水蒸気蒸留法

主な成分：1-メントール、1-メントン、1.8-シネオール、イソメントン



心 スッキリした気分になりたいときに。

気持ちに刺激を与えてくれたり、シャキッとした気分させてくれる。試験前や仕事はじめてで集中力を高めたいときや、気持ちを切り替えたい時に。

鎮静させることもできるので、イライラ時や緊張時にもおすすめ。



体

体を冷やし、爽快感をもたらす。しかし、体温を下げたり冷える感じはなく体感温度だけを下げるので、暑い時期には重宝する。

ほかには、呼吸器系の不調にも使われ、熱・のどの腫れや痰をスッキリさせてくれる。胃もたれや消化不良にもよい。乗り物酔いにもおすすめ。

また、頭痛がひどくてもお薬を飲めない妊婦さんなどは、キャリアオイルで1%濃度に薄めたペパーミントをこめかみに塗ると楽になる。



肌

炎症を抑えるので、日焼け後の皮膚や、お肌の引き締め。

清涼感+抑痒を期待して、虫さされのかゆみ止めに使用しても良い。

◎夏を乗り切る！おすすめレシピ◎

・バスソルト 20~40g

・精油 ペパーミント 3~5滴

上記をビニル袋や容器に入れ、よく混ぜ合わせる。入浴直前に湯船に入れ、よくかき混ぜる。香りを感じなくなっても追加はしないこと。ペパーミントの清涼感がお風呂上りにつづき、涼しい夜を過ごせます♪

精油は、全身浴であれば5滴、半身浴であれば3滴が目安。



〇〇年後の夏の楽しみ

病院診療所 ち～さん
子供の頃は夏休みが楽しみではなかった。
「今年は海？それとも山にする？？夏祭りもあるし、花火大会にも行きたいな～！」と親にせがみ、わくわくしたものである。

大人になった今はどうだろう。
「海？水着姿を人前にさらすなんて無理！」
「山？暑い中、わざわざ体力消耗しなくても…」
「夏祭り？花火大会？？行ってみたいけど、絶対渋滞だよね…」

我ながらマイナス思考だな～と思うが、年を重ねると、遊んだ後に来る疲労感が半端ない。ここ数年の夏の楽しみといえば、美味しいおつまみをネットで取り寄せ、冷たいビールとともに満喫する事くらいだろうか。

今回、原稿を依頼され、世の皆さんの「夏の過ごし方」をネットで検索してみたところ、何とも羨ましい夏を過ごされている国があった。それは北欧なのだが、中でもフィンランドは大人も4週間の夏休みを取ることが「国の義務」だということから驚きだ。

日本と比べて夏が短い北欧は、「夏は休む、遊ぶ」が基本。大人も子供も太陽の恩恵を感じられる夏を十分満喫し、心も体もリフレッシュするのだそう。仕事に戻るのが嫌になりそうだが、休み明けは皆、生き生きと仕事や勉強に励むことができるのだという。

今の職場で4週間も夏休みを取るなんて不可能に近いので、退職した年の夏「北欧で多忙な日々を忘れてリフレッシュする」事を秘かに計画している。

(それまでに資金をためなければ…笑)

病院診療所 匿名

夏、楽しみにしていることは、秋田県の「大曲全国花火競技大会」を見に行くことです。

全国三大花火大会の1つでもあり、その大迫力に行くたびに圧倒されます。大曲花火大会は、テーマを設けて、創造性の高い花火を自由に組み合わせることで、ストーリー性があり、音楽と合った作品を競い合うため、毎年斬新なテーマ性に優れた花火を楽しむことができます。また、花火を見ながらビールと屋台の食べ物を食す楽しみもあり、毎年楽しみにしている行事の1つです。

そして、大会フィナーレの花火が終わり、観客たちが一斉にライトを花火師さんに向けて振り始めます。花火師さんたちも発煙筒などで答えてくれます。最後までその迫力と感動を楽しむことができます。

今年も天気を祈りつつ、楽しみにしたいと思います。



保険薬局 匿名

夏の花盛りである。

和の趣があるツツジ、真紅鮮やかなサルスベリ、雨が似合うアジサイ、絢爛豪華なバラと、いずれも、目を楽しませ、心を和ませてくれる。

しかし、夏の花で、誰もが思い浮かべるものは、やはりヒマワリではないだろうか。太陽と青空に映える黄金色の花、文字通り「向日葵」である。

わが家の近所に、小さなヒマワリ畑がある。十数本ではあるが、毎年、その黄金色に彩られる。特に、太陽が照りつける昼下がりには、ひときわ輝いて見える。

それにしても、ヒマワリは、ニッコリ笑った顔のように見える。そして、よく見ると、一つひとつが、それぞれ味わい深い表情をしている。

テーマ：夏、楽しみにしていること



青空がまぶしい真夏の昼下がりに、満開の笑顔に出会うこと、それを、毎年のささやかな楽しみにしている。



保険薬局 トマト

楽しい夏はあっという間に過ぎていく。お盆行事や、帰省した親戚や友人に会ったり、夏祭りや花火大会などイベントも多く楽しい時間を過ごすためだと思う。

中でも、夏ならではの楽しみとして、水遊びがある。流れるプールや温泉施設に併設されているプールなどで必ずひと夏に一度は家族で思う存分水遊びをするのだが、去年は久しぶりに海水浴をした。遊泳可能エリアの境界である沖に浮かぶイカダまで、浮き輪をはめた息子と競争した。泳ぎが不得手な私は、プールでは25m進むのにも一苦労、水が重く息がきれるのであるが、それとは違いスイスイ進む。まさに海の塩水マジックを体感した。

混雑したプールのように行く先を阻む者もない。曇り空ではあったが、数時間過ごす間に3回ほどイカダに泳ぎ着き、しばしそこで休息し岸までもどった。陸にいては味わえないリフレッシュタイムであった。今年の夏もまた体感したい。



山田旅の人

“夏楽しみにしていること” 山田湾シーカヤック

桜の花が終わると、ここ三陸沿岸では山瀬が吹いて半袖1枚では過ごせない日もあるものの、山田湾の水も温みはじめ水遊びの季節になり、波静

かな湾内にヨットやシーカヤックが浮かび始めます。

お父っさんの齧ってるシーカヤックは9月末までがシーズンとなります。幸い町には20艇のシーカヤックがあり、届け出れば無償貸与の制度があり、楽しめます。

山田のカキ小屋近辺から大島(通称オランダ島)と隣の小島を目指し、沈没に注意しながらのパドルでの漕艇は結構疲れるものですが、海拔1m弱の景色は見慣れた風景とは違い格別です。

ひと汗をかき無事帰還したあと、山の端に落ちていく夕日を眺めながら、浜辺で仲間とのシーフードバーベキューの味は、乾いたのどを潤す生ビールの味とあいまって最高の楽しみです。

追記 オランダ島はもともと大島と呼ばれてきた山田湾内の無人島ですが、1643年にオランダの帆船ブリスケンス号が漂着したことから俗名オランダ島と呼ばれております。震災前までは海水浴シーズンになると定期の客船が運航しており、子供たちは棧橋から海に飛び込んだりして楽しんでいたものです。

次号の「話題のひろば」のテーマは、『帰省や長旅の思い出』です。
ご意見は県薬事務局へFAXかEメールで。

投稿について

*ご意見の掲載に当り記銘について下記項目からお選び、原稿と一緒にお知らせください。

(1) 記銘について

- ①フルネームで
- ②イニシャルで
- ③匿名
- ④ペンネームで

(2) 所属について

- ①保険薬局
- ②病院診療所
- ③一般販売業
- ④卸売販売業
- ⑤MR
- ⑥行政
- ⑦教育・研究
- ⑧その他

*誌面の関係で掲載できない場合のあることをご了承ください。

ひそかな目標

花巻市薬剤師会 遠畑 竜一

先日、初めてハーフマラソンを完走することができました。イーハトーブ花巻ハーフマラソンです。

スポーツにおいて、見た目を裏切ったことなどなかった私が、まさかこんなことができるなんて。

運動音痴。と一言で表現できますが、私の場合は超下級の運動音痴。中学時代、授業でハードルがどうやっても飛べずにスネに青アザを作り、体育教師が同情して私だけハードルなしで勘弁してもらいました。それでもハードルを飛んだ同級生のタイムより遅い足。高校の授業のラグビーでは、走っているけど驚くほど遅い、投げられたボールは取れない、タックルを避けられずにまっすぐ当たって倒れる、で同級生を悩ませました。100kgを越す柔道部員に両脇を挟まれ、いつの間にかスクラムのド真ん中のポジション、言われるままにボールを蹴り出そうとした右足で、後ろにいた親友の顎を思い切り蹴り上げてしまいました。

しかし、マラソン大会や持久走でだけは、昔から少なくともビリではありませんでした。単に本気で走らない人が混じっていたからなのですが、当時はその希少価値が、なんとか最後まで頑張っただけ歩かなければビリにはならないという、極めて後ろ向きかつ前向きな姿勢を形成したのです。

そんな都合の悪いことはすっかり忘れ、月日は流れ、結婚して県営運動公園の近くに移り住んだのが9年前。三交代で働く妻が眠る近くで息を潜めて過ごす休日。物音を立てずに過ごすのは難しく、出かけたところで何かすることがあるわけでもなし。ふらっと運動公園に出かけてみると、ジョキングコースの看板。思い出したのは自分より後にゴールする人がいたあの時のこと。やってみようかと地面に引かれた線に沿って走り始めました。2kmはととてもとて遠く、5～600m走った辺りでありえないほど息が上がり帰宅。自分の体力のなさを痛感し、なんとかしなければと思い至りました。

翌日、右足の土踏まずが腫れ、受診すると捻挫との診断。

珍しい所を捻挫することもあるものだ、最近運動不足だったからと自分に言い訳し、大人しく回復を待ちました。

回復後、また走った翌日、左足に同様の症状が。

こうなるともう言い訳は通用しません。まともに運動してこなかった自分に問題があると思ひ知らされ、打ちのめされました。今までは筋力と若さがあったからこそ、ごまかしがきいたのだろうと。

その後、クッションのしっかりした靴に履き替え、何冊か書籍を読み、ウォーキングから始め、3日に1回出勤前に2kmを走るようになりました。その後空き時間を見つけては距離を伸ばし、10kmを1時間半近くかけ、ゆっくりと走れるようになるまで2年ほどかかりました。

ジョギングの距離が伸びて10kmが普通になった頃、大会に誘われました。実際に参加してみて大会の雰囲気を知ると、遅くても楽しんでいいのかという楽な気持ちになり、自分でエントリーしてみることに。初めての自分で参加したマラソン大会は11月の前沢。10kmを走りました。沿道に出ている皆さんに応援され、小雨の降る中ゴール。

大会に参加すると、ゴール後、参加賞を貰ったりします。走っている間は声援を受け、ゴールした後に何かもらおう、労ってもらえるということは、それまで一度も無かった経験。嬉しくなって他のレースにも出てみようという気になりました。

そのうち、どうせ走るならいつかフルマラソンを完走したいと野心を持ち始めました。そのために年に2～3回、10kmのレースを走ろうと。その後、子供が生まれ嬉しいけれど寝不足の日々。異動と転居で走る量は減りました。体調を崩して丸1年中断した事もありました。本格的に元に戻すべく走り出したのは去年から。厄年にフルマラソンを完走するべく、まずは今まで走った事がなかったハーフマラソンを目標に走り出しました。

そうして今回、目標の完走をなんとか果たしました。

タイムとペースは歩かなかっただけという有様。レース中、高校生がコースに並んで声を枯らして応援してくれました。励ましがなければ、私はきっと歩いていたと思います。

何かを目標に、一步一步を踏みしめ、前を向いて諦めずに積み重ねてみます。すると、何か得るものがある。支えてくれる人やいろいろなことが見えてくるということ、改めて体験できた気がします。

◇ ◇
 次回は奥州薬剤師会の 栗原 悠輔先生 にお願ひしました。



職場紹介



みつばち薬局（北上薬剤師会）

いつもお世話になっております。当薬局は、去年の10月に北上市村崎野に開局しました。これまで東北調剤薬局むらさきの店の名称でお世話になっておりましたが、この度、薬局名を変更して新規開局となりました。

「みつばち」の由来は、ご高齢の患者さまに「みつばちさん」と親しみをもって呼んでもらいたいという希望をこめて、また、働き者の「みつばち」のように地域医療のお役に立ちたいという思いをこめて命名しました。

スタッフは、薬剤師常勤1名、非常勤1名、事務員2名で日々の業務に取り組んでいます。ひとりの事務員は、前身の薬局から数えて8年以上にわたって勤務しており、患者さまとはすっかり顔見知りです。普段のなにげない会話から、その信頼感がうかがえます。実のところ、その「何でも話せる雰囲気」から、過去の既往歴や他院への受診、生活状況など大切な患者さまの情報が得られることがあります。今年の調剤報酬改訂をきっかけに、「かかりつけ薬局・かかりつけ薬剤師」が話題になっています。その算定要件をみて、どうしても身構えてしまいがちですが、そのヒントはこういった素朴で身近なところにあるのではないかと、ふと感じているところです。

算定要件とじ〜っと睨めっこしてあれこれ取り組むのではなく、いつもどおりの仕事をしていたら自然と要件を満たしていた、そんな業務ができれば理想の薬局に近づくのではないかと考えています。まだまだ力不足の点も多いですが、地域医療にかかわる皆さまと一丸となって地域の健康に貢献していきたいと思っています。

これからもどうぞ宜しくお願い致します。

〒024-0004 北上市村崎野 15-149-1
TEL:0197-62-5900 FAX:0197-62-5901

アイン薬局宮古山口店（宮古薬剤師会）

アイン薬局宮古山口店は、6/1にオープンした店舗です。宮古山口病院よりすこし奥に入ったところに店舗があります。診療科は、精神科、神経科、内科、歯科があります。

近くには、小川が流れており北リアス線の線路も自然豊かな場所にあります。

店舗内は、あまり大きくなく来られる方は小さい薬局と感じられると思います。

スタッフは、薬剤師が2名（男性）、医療事務2名（女性）の計4名が常勤として勤務しております。



〒027-0063 宮古市山口 5-295-7
TEL:0193-65-7137 FAX:0193-65-7182



会員の動き



会員の動き（平成28年5月1日～平成28年6月30日）

☆会員登録の変更について
勤務先・自宅住所・雑誌発送先・薬剤師区分等に変更があった場合は、変更報告書（3枚複写）を提出していただくことが必要になります。電話等で県薬事務局に用紙を請求して下さい。

☆退会について
退会を希望される場合は、退会届（3枚複写）を提出していただくことが必要になります。県薬事務局まで連絡をお願いします。

（5月 入会）

地域	業態	氏名 勤務先	〒	勤務先住所	勤務先 TEL	勤務先 FAX	出身校 卒業年度
盛岡	1	岡村 博文 ドレミ薬局	037-0073	五所川原市字柳町4-9	0173-38-5771	0173-38-5772	東北薬大 S53
盛岡	1	赤間 千夏 ㈱どんぐり工房	020-0063	盛岡市材木町2-26 近三ビル2F	019-613-5552	019-623-7613	昭和薬大 S61
盛岡	7	三浦 洋一 エーザイ株式会社	020-0021	盛岡市中央通3-1-2 盛岡第一生命ビル9F	019-651-2450	019-651-2427	東北薬大 S55
盛岡	6	井上 遥菜 銀河薬局本店	020-0866	盛岡市本宮6-1-55	019-635-8911	019-635-8912	岩手医科 H25
盛岡	4	小野寺 哲 調剤薬局ツルドラッグ マリオス店	020-0045	盛岡市盛岡駅西通二丁目9-1 マリオス5F内	019-621-5200	019-621-5200	いわき H25
盛岡	6	黒田 啓希 株式会社ユニオン薬局	020-0885	盛岡市紺屋町1-36	019-625-3187		岩手医科 H24
盛岡	7	津軽石 玲於 岩手県立中央病院	020-0066	盛岡市上田1丁目4-1	019-653-1151	019-653-2528	岩手医科 H26
盛岡	7	高橋 慎太郎 岩手県立中央病院	020-0066	盛岡市上田1丁目4-1	019-653-1151	019-653-2528	岩手医科 H27
盛岡	7	吉田 成美 岩手県立中央病院	020-0066	盛岡市上田一丁目4-1	019-653-1151	019-653-2528	岩手医科 H27
盛岡	7	藤井 康聖 岩手県立中央病院	020-0066	盛岡市上田1丁目4-1	019-653-1151	019-653-2528	北医療大 H26
盛岡	7	東 航平 岩手県立中央病院	020-0066	盛岡市上田1丁目4-1	019-653-1151	019-653-2528	東北薬大 H27
花巻	7	菊池 琢登 岩手県立遠野病院	028-0541	遠野市松崎町白岩14地割74番地	0198-62-2222	0198-62-0113	岩手医科 H27
奥州	6	若生 健司 (有)ニエドー	029-4208	奥州市前沢区字七日町裏2番地	0197-56-4309	0197-56-3180	東北薬大 S55
奥州	7	藤本 真友 岩手県立胆沢病院	023-0864	奥州市水沢区字龍ヶ馬場61番地	0197-24-4121		岩手医科 H26
一関	6	鈴木 友人 千厩調剤薬局	029-0803	一関市千厩町千厩字草井沢43-1	0191-51-1666	0191-51-1660	北医療大 H17
一関	4	川村 修介 リリィ薬局藤沢店	029-3405	一関市藤沢町藤澤字町裏180-2	0191-48-3428	0191-48-3438	東北薬大 H24
気仙	7	宇部 太郎 岩手県立大船渡病院	022-8512	大船渡市大船渡町山馬越10-1	0192-26-1111	0192-27-9285	岩手医科 H27
宮古	7	佐藤 慎一郎 恩賜財団 岩手県済生会 岩泉病院	027-0501	下閉伊郡岩泉町岩泉字中家19-1	0194-22-2151	0194-22-4232	東北薬大 H19
二戸	7	山崎 浩佳 岩手県立二戸病院	028-6193	二戸市堀野字大川原毛38番地2	0195-23-2191	0195-23-2834	東北薬大 H27

(6月 入会)

地域	業態	氏名 勤務先	〒	勤務先住所	勤務先 TEL	勤務先 FAX	出身校 卒業年度
盛岡	6	嶋 ゆかり ユニオン薬局	020-0885	盛岡市紺屋町1-36	019-625-3187	019-625-5969	いわき H27
盛岡	7	浅沼 美和 盛岡赤十字病院	020-8560	盛岡市三本柳6-1-1	019-637-3111		東北薬大 H8
盛岡	7	佐藤 文彦 岩手医科大学附属病院 薬剤部	020-8505	盛岡市内丸19-1	019-651-5111	019-654-7560	東北薬大 S59
盛岡	7	鈴木 弘文 盛岡赤十字病院	020-8560	盛岡市三本柳6-1-1	019-637-3111	019-637-3801	東薬大 S61
盛岡	6	大坊 拓 しぶたみ薬局	028-4134	盛岡市下田字陣場42-16	019-656-7015	019-656-7016	岩手医科 H24
盛岡	6	滝本 彩香 調剤薬局ソルハドラッグ紫波店	028-3303	紫波郡紫波町高水寺字大坊183-1	019-672-6568	019-672-6568	岩手医科 H25
盛岡	6	丸本 慎太郎 調剤薬局ソルハドラッグ紫波店	028-3303	紫波郡紫波町高水寺字大坊183-1	019-672-6568	019-672-6568	岩手医科 H24
花巻	6	平野 沙也加 つくし薬局東館店	028-0515	遠野市東館町8-6	0198-68-3015	0198-68-3016	日本薬科 H25
花巻	6	片山 綜太 つくし薬局新穀店	028-0522	遠野市新穀町5番18号	0198-63-1300	0198-63-1301	岩手医科 H27
北上	4	腰山 裕美 リリイ薬局北上店	024-0001	北上市飯豊20地割123番地1	0197-72-6691	0197-72-6692	東北薬大 H25
北上	6	立花 繭子 調剤薬局ソルハドラッグ大堤店	024-0055	北上市大堤南一丁目1-24	0197-67-6324	0197-67-6304	岩手医科 H27
奥州	7	中村 彩子 社団医療法人啓愛会 美山病院	023-0132	奥州市水沢区羽田町字水無沢495-2	0197-24-2141	0197-24-2144	岩手医科 H25
奥州	4	根本 明子 オレンジ薬局金ヶ崎店	029-4503	胆沢郡金ヶ崎町西根鍬水180-5	0197-41-1977	0197-41-1978	東北薬大 H1
奥州	7	田村 文香 岩手県立胆沢病院	023-0864	奥州市医水沢区字龍ヶ馬場61	0197-24-4121	0197-24-8194	岩手医科 H26
奥州	7	齋藤 友加里 岩手県立江刺病院	023-1103	奥州市江刺区西大通り5-23	0197-35-2181	0197-35-0530	岩手医科 H27
奥州	6	小野寺 泰大 うさぎ調剤薬局	023-0054	奥州市水沢区吉小路3-3	0197-51-7070	0197-51-7071	青森大 H27
奥州	6	飯田 由紀子 みどり薬局不断町店	023-0032	奥州市水沢区字多賀47番地	0197-51-2216	0197-51-2217	東北薬大 S49
奥州	6	高橋 翔平 ふれあい薬局	023-0403	奥州市胆沢区若柳字甘草324	0197-41-4110	0197-46-5150	岩手医科 H27
一関	7	佐藤 和佳子 岩手県立磐井病院	029-0192	一関市狐禅寺字大平17			東北薬大 H27
一関	6	村上 達郎 みちのく調剤薬局	021-0884	一関市大手町3-26	0191-26-1611	0191-26-1588	東北薬大 H26
気仙	4	名古屋 茜 とうごう薬局大船渡店	022-0004	大船渡市猪川町字前田9-28	0192-47-3982	0192-47-3983	北里大 H18
気仙	6	小又 千恵 つくし薬局猪川店	022-0004	大船渡市猪川町字中井沢10-10	0192-21-3663	0192-27-0066	いわき H27
釜石	7	佐藤 あゆみ 岩手県立釜石病院	026-8550	釜石市甲子町第10地割483番地6	0193-25-2011	0193-23-9479	岩手医科 H26
宮古	7	松葉 智哉 岩手県立宮古病院	027-0096	宮古市崎楯ヶ崎1-11-26	0193-62-4011	0193-63-6941	岩手医科 H27
宮古	6	片方 悠二 つくし薬局磯鶏店	027-0023	宮古市磯鶏沖15-11	0193-71-2100	0193-71-2101	東北薬大 H27
久慈	7	大下 啓喬 岩手県立久慈病院 薬剤科	028-8040	久慈市旭町10-1	0194-53-6131	0194-52-2601	岩手医科 H27
二戸	6	寶 伸哉 つくし薬局二戸店	028-6103	二戸市石切所字川原28-10	0195-22-3311	0195-23-8811	東北薬大 H27
二戸	7	鎌田 裕也 岩手県立一戸病院	028-5312	二戸郡一戸町一戸字砂森60-1	0195-33-3101	0195-32-2171	岩手医科 H27
二戸	6	川又 歩 堀野調剤薬局	028-6105	二戸市堀野字大川原毛89-1	0195-25-5016	0195-25-5017	岩手医科 H27

(5月 変更)

地域	氏名	変更事項	変更内容		
盛岡	小原香月	勤務先	〒029-0192	一関市狐禅寺字大平17番地 岩手県立磐井病院 電話 0191-23-3452 FAX 0191-23-9691	
盛岡	工藤寛史	勤務先	〒020-0004	盛岡市山岸1-33-11 かるがも薬局山岸店 電話 019-623-9696 FAX 019-623-2992	
盛岡	四倉雄二	勤務先	〒020-0637	滝沢市高屋敷平11-40 ミモザ薬局 電話 019-613-2670 FAX 019-613-2680	
盛岡	佐藤優子	勤務先	〒020-0878	盛岡市肴町4-30 さかな町薬局 電話 019-651-8311 FAX 019-651-8321	
盛岡	小泉千明	勤務先	〒020-0883	盛岡市志家町9-9 調剤薬局ツルハドレッジ志家店 電話 019-622-8577 FAX 019-622-8625	
盛岡	菅澤佳奈	勤務先	〒020-0066	盛岡市上田1-3-10 リード薬局 電話 019-622-9700 FAX 019-622-9701	
盛岡	高橋淳子	勤務先	〒020-0822	盛岡市茶畑1-8-20 ソレイユ調剤薬局 電話 019-652-2822	
盛岡	阿部司	勤務先	〒020-0133	盛岡市青山3丁目6番2号 スタイル薬局 電話 019-646-5757 FAX 019-641-7055	
盛岡	志渡俊也	勤務先	〒020-0015	盛岡市本町通一丁目12-7 内丸病院 電話 019-654-5331 FAX 019-651-8542	
盛岡	工藤琢身	勤務先	〒023-0864	奥州市水沢区字龍ヶ馬場61 岩手県立胆沢病院 電話 0197-24-4121 FAX 0197-24-8194	
盛岡	坂本健太郎	勤務先及び地域	〒020-0066	盛岡市上田一丁目4-1 岩手県立中央病院 電話 019-653-1151 FAX 019-653-2528	旧地域 気仙
花巻	高橋悠真	勤務先及び地域	〒025-0312	花巻市二枚橋6地割498-1 たんぼほ薬局 電話 0198-26-1755 FAX 0198-26-1756	旧地域 奥州
花巻	野村小夜子	勤務先	〒025-0091	花巻市西大通り2-11-3 タカハシひかる薬局 電話 0198-41-1340 FAX 0198-41-1341	
花巻	船水祐里	勤務先及び地域	〒028-0115	花巻市東和町安俵6区75-1 岩手県立東和病院 電話 0198-42-2211 FAX 0198-42-4417	旧地域 北上
花巻	牛崎直子	勤務先及び地域	〒025-0072	花巻市四日町三丁目5-10 花北薬局 電話 0198-22-2020 FAX 0198-22-7622	旧地域 北上
花巻	尾形仁志	勤務先及び地域	〒028-0541	遠野市松崎町白岩14-74 岩手県立遠野病院 電話 0198-62-2222 FAX 0198-62-0113	旧地域 北上
花巻	熊谷央路	勤務先及び地域	〒028-0541	遠野市松崎町白岩14地割74番地 岩手県立遠野病院 電話 0198-62-2222 FAX 0198-62-0113	旧地域 一関
北上	佐々木克人	勤務先	〒024-0095	北上市芳町7番20号 ひまわり薬局 電話 0197-63-6877 FAX 0197-63-6879	
北上	阿部拓哉	勤務先及び地域	〒024-0035	北上市花園町3-1-6 クラフト薬局北上花園店 電話 0197-64-0918 FAX 0197-64-6993	旧地域 気仙
北上	小田島大雅	勤務先	〒024-0012	北上市常盤台一丁目22 常盤台薬局 電話 0197-61-2121 FAX 0197-65-7101	
奥州	小野真理	勤務先	〒023-0889	奥州市水沢区字高屋敷53-8 みどり薬局日高店 電話 0197-51-1766 FAX 0197-51-1767	
一関	佐藤健祐	勤務先	〒021-0053	一関市山目字中野59番1 れもん薬局 電話 0191-33-1510 FAX 0191-33-1530	
一関	山田雅宏	勤務先	〒029-0711	一関市大東町大原字川内128番地 岩手県立大東病院 電話 0191-72-2121 FAX 0191-72-2897	
一関	佐々木良江	勤務先	〒029-0131	一関市狐禅寺字大平17番地 岩手県立南光病院 電話 0191-23-3655 FAX 0191-23-9690	
釜石	小笠原忠隆	勤務先		無従事	
釜石	八木章雄	勤務先	〒026-0041	釜石市上中島町3丁目2番15 中田薬局上中島店 電話 0193-21-2050 FAX 0193-21-2051	
釜石	小笠原尚紀	勤務先及び地域	〒026-0031	釜石市鈴子町12-7 (株)メディセオ 釜石支店 電話 0193-22-3222 FAX 0193-31-1311	旧地域 宮古
釜石	上林麻美	勤務先	〒028-1121	上閉伊郡大槌町小釜第23地割字寺野23番2 つくし薬局本店 電話 0193-42-8500 FAX 0193-42-8501	
釜石	町田理美	勤務先	〒028-1121	上閉伊郡大槌町小釜23-23-2 つくし薬局本店 電話 0193-42-8500 FAX 0193-42-8501	
釜石	湊香織	勤務先	〒028-1121	上閉伊郡大槌町小釜第23地割字寺野23番2 つくし薬局本店 電話 0193-42-8500 FAX 0193-42-8501	
釜石	山内貴美子	勤務先	〒028-1121	上閉伊郡大槌町小釜第23地割字寺野23番2 つくし薬局本店 電話 0193-42-8500 FAX 0193-42-8501	
釜石	藤田佳克	勤務先	〒028-1121	上閉伊郡大槌町小釜第23地割字寺野23番2 つくし薬局本店 電話 0193-42-8500 FAX 0193-42-8501	

地域	氏名	変更事項	変更内容	
宮古	佐々木 夏子	勤務先	〒027-0061 宮古市西町一丁目7-32 のぞみ調剤薬局 電話 0193-65-7330 FAX 0193-65-7331	
二戸	佐藤 文勇	勤務先及び地域	〒028-5312 二戸郡一戸町字砂森60-1 岩手県立一戸病院 電話 0195-33-3101	旧地域 久慈
二戸	平船 浩人	勤務先	〒028-6302 九戸郡軽米町大字軽米第2地割54番地5 岩手県立軽米病院 電話 0195-46-2411 FAX 0195-46-3681	
二戸	福島 真実	勤務先	〒028-6302 九戸郡軽米町大字軽米2-54-5 岩手県立軽米病院 電話 0195-46-2411 FAX 0195-46-3681	

(6月 変更)

地域	氏名	変更事項	変更内容	
盛岡	佐々木 稔夫	勤務先及び地域	〒020-0015 盛岡市本町通1-11-25 油町薬局 電話 019-629-3400 FAX 019-626-5577	旧地域 花巻
盛岡	菊地 英行	勤務先及び地域	〒020-0023 盛岡市内丸11番1号 岩手県医療局 電話 019-629-6331 FAX 019-629-6344	旧地域 北上
盛岡	佐藤 琢思	勤務先	〒028-3307 紫波郡紫波町桜町字三本木167-2 さくら町調剤薬局 電話 019-671-1365 FAX 019-671-1366	
盛岡	中沢 久美子	勤務先	〒020-0066 盛岡市上田1-3-10 リード薬局 電話 019-622-9700 FAX 019-622-9701	
盛岡	高橋 志乃	勤務先及び地域	〒020-0066 盛岡市上田1-1-35 リーブ薬局 電話 019-601-3030 FAX 019-605-8282	旧地域 二戸
盛岡	高橋 蘭	勤務先	〒020-0066 盛岡市上田1-1-35 リーブ薬局 電話 019-601-3030 FAX 019-605-8282	
盛岡	打越 明子	勤務先	〒028-3163 花巻市石鳥谷町八幡3-76-13 えびす調剤薬局 電話 0198-46-1110 FAX 0198-46-2020	
盛岡	田中 茉莉子	勤務先	〒020-0015 盛岡市本町通一丁目9-28 本町薬局 電話 019-652-8200 FAX 019-652-3322	
盛岡	熊谷 素子	勤務先	〒020-0622 滝沢市野沢62-126 ひかり薬局 電話 019-681-0590 FAX 019-681-0591	
盛岡	王 聡子	勤務先	〒025-0065 花巻市星が丘1丁目8-20 ほしがおか・花城薬局 電話 0198-23-5388 FAX 0198-23-6066	
盛岡	三浦 真由美	勤務先	〒025-0065 花巻市星が丘1丁目8-20 ほしがおか・花城薬局 電話 0198-23-5388 FAX 0198-23-6066	
盛岡	山口 哲朗	勤務先	〒020-0034 盛岡市盛岡駅前通14-21 ひまわり薬局 電話 019-654-6019 FAX 019-654-6029	
盛岡	高橋 功行	勤務先	〒020-0838 盛岡市津志田中央3-20-6 アウル薬局 電話 019-637-3031 FAX 019-637-3032	
盛岡	久保 さやか	勤務先	〒020-0838 盛岡市津志田中央3-20-6 アウル薬局 電話 019-637-3031 FAX 019-637-3032	
盛岡	長沼 和洋	勤務先及び地域	〒020-0025 盛岡市大沢川原1-1-3 つくし薬局下の橋店 電話 019-624-8730 FAX 019-624-8730	旧地域 北上
花巻	松本 勢津子	勤務先	〒025-0087 花巻市上町6-5 小田島薬局 電話 0198-23-5161 FAX 0198-23-2453	
花巻	長井 忍	勤務先	〒025-0092 花巻市大通り一丁目15-19 サカモト薬局大通り店 電話 0198-24-9196 FAX 0198-24-9226	
奥州	西舘 利香	勤務先及び地域	〒023-1103 奥州市江刺区西大通り5-23 岩手県立江刺病院 電話 0197-35-2181 FAX 0197-35-0530	旧地域 花巻
奥州	菅原 哲子	勤務先	〒029-4208 奥州市前沢区字立石180-1 国保前沢診療所 電話 0197-41-3200 FAX 0197-41-3201	
奥州	横井 舞	勤務先	〒023-0889 奥州市水沢区字高屋敷53番地8 みどり薬局日高店 電話 0197-51-1766 FAX 0197-51-1767	
奥州	伊藤 愛美	勤務先	〒023-0816 奥州市水沢区西町5番22号 みどり薬局西町店 電話 0197-51-1517 FAX 0197-51-1518	
一関	佐山 英明	勤務先及び地域	〒029-0192 一関市狐禅寺字大平17番地 岩手県立磐井病院	旧地域 久慈
釜石	佐々木 智広	勤務先及び地域	〒026-8550 釜石市甲子町第10地割483番地6 岩手県立釜石病院 電話 0193-25-2011 FAX 0193-23-9479	旧地域 花巻
釜石	多田 光知子	勤務先及び地域	〒026-8550 釜石市甲子町10-483-6 岩手県立釜石病院 電話 0193-25-2011 FAX 0193-23-9479	旧地域 花巻
釜石	氏家 知香	勤務先	〒026-1121 上閉伊郡大槌町小槌23地割字寺野1番地1 岩手県立大槌病院 電話 0193-42-2121 FAX 0193-42-3148	
釜石	宮澤 倫子	勤務先	〒028-1121 上閉伊郡大槌町大槌第23地割字寺野23番2 つくし薬局本店 電話 0198-29-4041 FAX 0198-29-4043	
宮古	佐々木 千世	勤務先	〒027-0083 宮古市大通4-5-1 さくら薬局 電話 0193-65-0377	

地域	氏名	変更事項	変更内容	
久慈	奥地弘幸	勤務先及び地域	〒028-8040 久慈市旭町10-1 岩手県立久慈病院 薬剤科 電話 0194-53-6131 FAX 0194-52-2601	旧地域 花巻
二戸	佐々木素子	勤務先	〒028-6105 二戸市堀野字大川原毛95-1 カシオペア調剤薬局 電話 0195-22-1150 FAX 0195-22-1165	

5月退会

(盛岡) 熊谷 絵美、菅野 彊、稲垣 和幸 (北上) 及川 喜博 (奥州) 藤原 信明
(一関) 和田 好司 (釜石) 佐々木 詩織 (宮古) 田中 加津子

6月退会

(盛岡) 花田 慶子、柳平 裕介、築田 尚美、高橋 英美、中田 晴美、工藤 真帆
(花巻) 八重樫 恭平 (北上) 中田 幸宏 (奥州) 佐藤 洋子 (一関) 松本 留美、
松本 薫之、松本 洋江 (釜石) 照井 絹子 (宮古) 佐藤 茂子

会 員 数

	正会員	賛助会員	合計
平成28年6月30日現在	1,673名	94名	1,767名
平成27年6月30日現在	1,655名	93名	1,748名

訃 報

気仙薬剤師会 千葉 昭二 様 平成28年7月1日ご逝去
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



新たに指定された保険薬局

地域名	指定年月日	薬局名称	開設者名	〒	住所	TEL
盛岡	H28.06.01	アウル薬局	岡村 博文	020-0838	盛岡市津志田中央3-20-6	019-637-3031
宮古	H28.06.01	アイン薬局宮古山口店	大石 美也	027-0063	宮古市山口5-295-7	0193-65-7137
盛岡	H28.06.01	日本調剤矢巾薬局	三津原 博	028-3602	矢巾町藤沢1-114-1	019-611-2351
盛岡	H28.07.01	中田全快薬局	中田 辰介	020-0836	盛岡市津志田西2-16-80	019-613-5686
北上	H28.07.01	カワチ薬局北上店	河内 伸二	024-0072	北上市北鬼柳32-15	0197-64-1560
北上	H28.07.01	とちのき薬局	蓬田 陸史	024-0061	北上市大通り3-8-12	0197-61-3886



求人情報



受付日	種別	就労場所	求人者名・施設名	勤務時間		休日	その他
				平日	土曜日		
28.7.20	保険薬局	奥州市前沢区古城字比良59-8	フロンティア薬局前沢店	8:30~17:30	8:30~17:30	月曜、祝日、他シフト制で週1日	パート可、通勤手当有り、借上社宅有
28.7.20	保険薬局	盛岡市中太田泉田66-11	フロンティア薬局盛岡店	9:00~18:00	9:00~18:00	日曜、祝日、他シフト制で週1日	パート可、通勤手当有り、借上社宅有
28.7.20	保険薬局	花巻市石鳥谷町新堀8-34-4	フロンティア薬局石鳥谷店	8:30~17:30	8:30~17:30	月曜、祝日、シフト制により週1日	パート可、通勤手当有り、借上社宅有
28.7.20	保険薬局	北上市村崎野17-171	フロンティア薬局北上店	9:00~18:00	-	土曜、日曜、祝日	パート可、通勤手当有り、借上社宅有
28.7.11	保険薬局	盛岡市菜園1-5-25	菜園薬局	9:00~18:00	9:00~13:00	日曜、祝日、火曜	通勤手当、社会保険、昇給、退職金有り、パート可
28.6.6	保険薬局	花巻市西大通り2-22-17	パール薬局	8:30~18:30 (木8:30~13:00)	8:30~13:00	日曜、祝日、盆、年末年始	通勤手当有り、中退共加入
28.6.6	保険薬局	滝沢村土沢540-2	あおぞら薬局	応相談	応相談	日曜、祝日、水曜	勤務時間応相談 パート可
28.5.19	保険薬局	滝沢市湯舟沢480-2	たけしげ薬局	8:30~18:30	8:30~17:00	日曜、祝日、水曜日午後	勤務時間応相談 パート可
28.5.11	保険薬局	雫石町万田渡74-19	しずくいし中央薬局	9:00~18:00	9:00~15:00	日曜、祝日、土曜は隔週	パート可 勤務時間要相談
28.5.9	保険薬局	奥州市胆沢区若柳字甘草324	ふれあい薬局	9:00~17:30 (水9:00~21:00)		土曜、日曜、祝日	パート可
28.4.14	病院	盛岡市東見前6-40-1	都南病院	8:30~17:00	8:30~12:30	4週6休	通気手当有り、昇給有り、退職金有り、職員食堂利用可 パート可(時間応相談)
28.4.8	保険薬局	花巻市高木15-18-13	たかき薬局	9:00~18:00	9:00~13:00	日曜、祝日、年末年始	昇給有り、退職金有り
28.3.22	保険薬局	滝沢市牧野林1010-11	侷ふうせん薬局	9:00~18:00		日曜、祝日、土曜	通勤手当あり、パート可
28.3.15	保険薬局	北上市大通り4-3-1	かたくり薬局				
28.3.11	保険薬局	花巻市大通り1-15-19	サカモト薬局大通り店	9:00~18:00	9:00~18:00	日曜、祝日(月9休)	交通費支給、社宅借上げ、家賃補助制度
28.3.11	保険薬局	花巻市不動町1-2-5	サカモト薬局健康館	9:00~18:00	9:00~18:00	日曜、祝日(月9休)	交通費支給、社宅借上げ、家賃補助制度
28.3.11	保険薬局	花巻市二枚橋6-498-1	たんぼぼ薬局	9:00~18:00	9:00~13:00	日曜、祝日、木曜・土曜の午後	交通費支給、社宅借上げ、家賃補助制度
28.3.10	保険薬局	盛岡市盛岡駅前通14-21	ひまわり薬局	8:30~17:30	8:30~13:00 (木、土曜日)	日曜、祝日	変則完全週休2日制、パート可
28.3.10	保険薬局	盛岡市青山3-6-2	スタイル薬局	8:30~18:00	8:30~13:00 (水8:30~15:00)	日曜、祝日、第3土曜、月1回水曜	勤務時間はシフト制、パート可
28.3.10	保険薬局	盛岡市好摩字夏間木107-3	まつや調剤薬局	9:00~18:00	9:00~13:00	週休2日(シフト制)	昇給有、中退共加入、パート可
28.3.5	保険薬局	盛岡市上田1-3-10	リード薬局	9:00~18:00	9:00~13:00	日曜、祝日(土曜日は隔週)	
28.3.5	保険薬局	盛岡市上田1-1-35	リープ薬局	9:00~18:00	9:00~13:00	日曜、祝日(土曜日は交代制)	
28.3.3	保険薬局	盛岡市上田字松屋敷23-3	こなん薬局	9:00~18:00	8:30~13:00	日曜、祝日	隔週水曜、金曜交互に午後休み
28.3.3	病院	一関市八幡町2-43	社団医療法人西城病院	8:30~17:00	8:30~13:30	日曜、祝日(土曜日はシフトによる)	雇用形態は応相談
28.3.3	保険薬局	花巻市石鳥谷町八幡5-47-2	侷あさひ薬局センター店	9:00~17:00	9:00~12:00	日曜、祝日、平日週1日	

■岩手県薬剤師会【薬剤師無料職業紹介所】では、求人、求職ともそれぞれ、「求人票」、「求職票」を登録のうえでのご紹介となっております。登録をご希望のかたは、直接来館または、「求人票」「求職票」を送付いたしますので県薬事務局（電話 019-622-2467）までご連絡ください。受付時間は（月-金/9時~12時、13時~17時）です。なお、登録については受付日~三ヶ月間（登録継続の連絡があった場合を除く）とします。



図書紹介



1. 「薬剤師のための臨床検査の知識 改訂6版」

- 発 行 じほう
判 型 ポケット判 432 頁
定 価 2,160 円 (税込)
会員価格 1,940 円 (税込)
☆送 料 ①県薬及び地域薬剤師会に一括送付
の場合無料
②個人の場合 10 冊以上を一括同一
箇所に送付する場合は無料
③1～9 冊までは、一律 500 円 (税込)

4. 「保険薬局業務指針 2016 年版」

- 発 行 薬事日報社
判 型 B 5 判 600 頁
定 価 4,860 円 (税込)
会員価格 4,300 円 (税込)
☆送 料 ①県薬及び地域薬剤師会に一括送付
の場合無料
②個人の場合 10 冊以上を一括同一
箇所に送付する場合は無料
③1～9 冊までは、一律 460 円 (税込)

2. 「保険薬事典プラス平成 28 年 8 月版」

- 発 行 じほう
判 型 A 5 判 950 頁
定 価 4,968 円 (税込)
会員価格 4,470 円 (税込)
☆送 料 ①県薬及び地域薬剤師会に一括送付
の場合無料
②個人の場合 10 冊以上を一括同一
箇所に送付する場合は無料
③1～9 冊までは、一律 500 円 (税込)

3. 「認知症 気づけばわかるケアできる Q & A 50」

- 発 行 じほう
判 型 A 5 判 117 頁
定 価 2,376 円 (税込)
会員価格 2,100 円 (税込)
☆送 料 ①県薬及び地域薬剤師会に一括送付
の場合無料
②個人の場合 10 冊以上を一括同一
箇所に送付する場合は無料
③1～9 冊までは、一律 460 円 (税込)

☆図書の購入申し込みは、専用の申し込み用紙で、県薬事務局まで FAX して下さい。

専用の申し込み用紙は、県薬ホームページ会員のページからダウンロードしてご利用下さい。

県薬ホームページ <http://www.iwayaku.or.jp/>

会員のページ ユーザー名 iwayaku

パスワード ipa2210

編集後記

この号が発行される頃には夏真っ只中。今回の話題のひろばのテーマは「夏、楽しみにしている事」です。

夏といえば夏祭り!?

県薬事務局がある盛岡市の夏祭りといえばやはり“さんさ踊り”ですね。練習の太鼓や笛、踊り子の掛け声などを耳にしている方も多いと思います。

藩政時代より踊り受け継がれてきた“さんさ踊り”の起源は三ツ石伝説に由来しています。

その昔、南部盛岡城下に羅刹（らせつ）という鬼が現れ悪さをして暴れており、困り果てた里人たちが三ツ石神社の神様に羅刹の退治を祈願しました。神様は羅刹をとらえ二度と悪さをしないよう誓いの証として境内の大きな三ツ石に鬼の手形を押させました。鬼の退散を喜んだ里人たちが三ツ石のまわりを「さんささんさ」と踊ったのが“さんさ踊り”の始まりと言われているそうです。岩手=手形…これが岩手の由来。

県名由来のまつりが地元にあるというのはなんだか感慨深いものがありますね。

(編集委員 安倍 奨)

..... **お知らせ**

岩手県薬剤師会館はお盆のため **平成28年 8月15日(月)、16日(火)** は休館いたします。

(一社) 岩手県薬剤師会ホームページ <http://www.iwayaku.or.jp/>

「会員のページ」ユーザー名 **iwayaku**
パスワード **ipa2210**

「イーハトーブ」は、会員相互の意見や情報の交換の場です。

会員の皆様からの投稿・意見・要望をお待ちしております。

投稿・意見・要望あて先 県薬事務局 TEL 019-622-2467 FAX 019-653-2273

e-mail ipalhead@rose.ocn.ne.jp

(アイ・ピー・エー・イチ・エイチ・イー・エー・ディー)

表紙の写真

名称は滝の浦の滝、山田湾の湾口は船越半島の小根ヶ崎と映画「喜びも悲しみも幾年月」で有名になった鮎ヶ崎灯台がある重茂半島の根滝山が形作っている。滝の浦は船越半島の太平洋側にあり、近くには七つボロと呼ばれる七つの浸食洞窟や大釜崎があり、本州最東端の地域にある滝の一つである。(宮古薬剤師会 山田旅の人)

編 集

担当副会長

宮手義和

担当理事(広報委員会)

畑澤昌美、高林江美、工藤琢身、佐々木栄一、川目聖子

編集委員(編集委員会)

川目聖子、高野浩史、安倍 奨、佐々木美保

地域薬剤師会編集委員

渡辺憲之(盛岡)、伊藤勝彦(花巻)、三浦正樹(北上)、
千葉千香子(奥州)、阿部淳子(一関)、金野良則(気仙)、
佐竹尚司(釜石)、内田一幸(宮古)、新渕純司(久慈)、
松尾智仁(二戸)

イーハトーブ～岩手県薬剤師会誌～ 第56号

第56号(奇数月1回末日発行)

平成28年7月30日 印刷

平成28年7月31日 発行

発行者 一般社団法人 岩手県薬剤師会

会長 畑澤博巳

発行所 一般社団法人 岩手県薬剤師会

〒020-0876 盛岡市馬場町3番12号

TEL (019) 622-2467 FAX (019) 653-2273

e-mail ipalhead@rose.ocn.ne.jp

印刷所 杜陵高速印刷株式会社

〒020-0811 盛岡市川目町23番2号 盛岡中央工業団地

TEL (019) 651-2110 FAX (019) 654-1084



薬剤師国家試験対策予備校 ラッキーゼミナール

盛岡で、
+ 親身な予備校で、
= 薬剤師になる。



1年コースは
2016年5月9日より
開講中！

※受講お申込は終了
しております。

まだ間に合う！

半年コース
(2016年8月1日開講)
受講お申し込み
受付中！

お申し込み期限

2016年7月25日(月)

私たちの提供するものは、一方通行の集団講義ではありません。

限定30名の少人数制によるアットホームな雰囲気の中で、
ひとりひとりの理解を大切にする講義を行っています。

講師
募集
中
!!

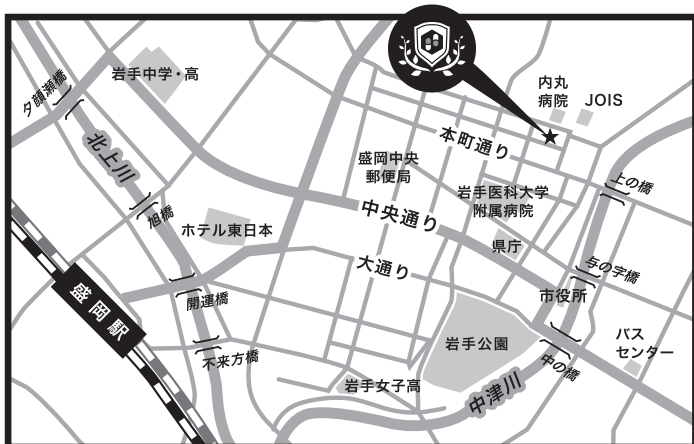


科目問わず！講師を随時募集しております。

- ▶ 時短勤務や週数回の勤務も可能！
- ▶ 経験者優遇！
未経験者でも意欲的な方であれば大歓迎です。

エントリーフォームURL ▶▶▶ http://www.luckybag.co.jp/recruit_entry_teacher.html

お気軽にお問い合わせください。



〒020-0015

岩手県盛岡市本町通り1丁目11-25 小笠原ビル1階

ラッキーゼミナール

(ラッキーバッグ株式会社 岩手事務所)

☎ 019-601-7474 / FAX : 019-601-7661

✉ info@luckyseminar.jp

🌐 <http://www.luckyseminar.jp>

f <https://www.facebook.com/luckyseminar>

ラッキーゼミナール

検索



運営元



ラッキーバッグ株式会社

東北に23店舗の調剤薬局を展開しております。

本部 〒996-0021 山形県新庄市常葉町1-32

☎ 0233-29-8177

✉ info@luckybag.co.jp

🌐 <http://luckybag.co.jp>

Aflac は、医療保険契約件数 **No.1**

平成27年版「インシュアランス生命保険統計号」より

かおりさん(25歳)は毎月1,705円*1の保険料をお支払いいただいております。今回の手術は子宮内膜症と診断され、治療のために7日間*2入院し、腹腔鏡手術を受けました。

*1 かおりさんは、ちゃんと応える医療保険レディースEVER入院給付金日額5,000円コースに加入しておりました。

*2 入院日数は厚生労働省「平成26年患者調査」より

- 疾病入院給付金
…5,000円×7日間
- 女性疾病入院給付金
…5,000円×7日間
- 手術給付金(重大手術を除く入院中の手術)
…50,000円

お受取金額合計
120,000円



ちゃんと応える
医療保険

Lady's EVER

女性特有の病気の入院も手厚く保障

ちゃんと応える医療保険レディースEVER 三大疾病保険料払込免除特約なし

月払保険料(個別取扱) 入院給付金支払限度60日型 入院給付金日額:5,000円 定額タイプ 通院なしプラン 保険料払込期間:終身

契約日の満年齢	25歳	30歳	35歳	40歳	50歳	終身保障
女性	1,705円	1,835円	1,970円	2,185円	2,975円	

2016年2月現在

特長

5日未満の入院なら、一律5日分お支払いします。

女性特有の病気(子宮筋腫・乳腺症など)・帝王切開で入院した場合、1日につき女性疾病入院給付金を**上乗せ**(プラス5,000円)してお支払いします。

◎詳しくは「契約概要」等をご覧ください。

■募集代理店 ナカイ 保険 検索
ナカイ株式会社 盛岡支店
〒020-0025 盛岡市大沢川原3丁目8-40 パレスこずかた橋1F
TEL: 019-652-3261(代) FAX: 019-652-3275

フリーダイヤル(通話料無料)
0120-523-261

■引受保険会社
アフラック (アメリカンファミリー生命保険会社)
盛岡支店
〒020-0045 盛岡市盛岡駅西通2-9-1 マリオス13F
当社保険に関するお問い合わせ:各種手続き
コールセンター 0210-5555-95

わたしたち薬剤師はスポーツ選手の味方です！



第71回国民体育大会

2016
希望郷 **いわて国体**

第16回全国障害者スポーツ大会

2016
希望郷 **いわて大会**

広げよう 感動。伝えよう 感謝。

2016年 岩手県で「希望郷いわて国体・希望郷いわて大会」が開催されます。